

南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和 7 年 7 月		工事概要	施工延長 L=218.9m	
契約番号	2025000623			配水管布替工 DIP-GX φ200 L=218.9m	
路線名	市道 北新田深野線			排泥弁工 N=1箇所	
工事等名	重要給水施設配水管耐震化事業 管路耐震化（深野地区）5工区工事			給水工 N=1箇所	
				産業廃棄物処理工 N=1式	
工事等場所	南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外		安全工 N=1式		
総工事費	当初請負		仕様概要	1 設計図書及び標準仕様書に準ずること	
	当初設計			2 詳細は監督員の指示によること	
	変更請負				
	変更設計				
工 事 費 総 括 表					
費 目	金 額	工 事 価 格	消費税相当額	摘 要	
本工事費					
附帯工事費					
測量及び試験費					
用地費及び補償費					
機械器具費					
営繕費					
工事雑費					
工事費					
事務費					
事業費					

工 事 費 内 訳 書

契約番号(2025000623)		
重要給水施設配水管耐震化事業管路耐震化(深野地区)5工区工事		
種 別	金 額 (円)	備 考
配水管工		
給水分岐替工		
産廃処分工		
安全工		
直接工事費		
諸 経 費		
工事費計(税抜き)		

諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で()の中に金額を記入すること。

住 所

業者名

代表者名

最低制限価格の設定(算定)について

重要給水施設配水管耐震化事業管路耐震化(深野地区)5工区工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。
該当工事には のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用 = 最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92% + 消費税額

予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☐ 一般土木工事(橋製作・架設工を含む)

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

☐ 建築工事(一般・解体工事共通)

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ 舗装工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

☒ 水道工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費 × 68%

☐ 暖冷房衛生設備工事

直接工事費 × 97% + 共通仮設費 × 90% + 現場管理費 × 90% + 一般管理費68%

☐ 電気・通信設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 機器間接費) × 90% + 一般管理費(製作分 + 据付分) × 68%

☐ 機械設備工事(製作・据付共通)

(直接製作費 + 直接工事費) × 97% + (共通仮設費 + 間接労務費) × 90% + (現場管理費 + 工場管理費 + 据付間接費 + 設計技術費) × 90% + 一般管理費 × 68%

直接製作費: 製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費 等)

直接工事費: 据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費 等)

南相馬市原町区管内図



総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	D1 南相馬市 実施設計書 当初 00000000000 0 1 実施単価 71 S (相双1) 地区 00-07.06.15(0) 9 水道工事 重要給水施設耐震化事業管路耐震化(深野地区)工事		
	当 世 代		前 世 代
前払率 工種区分 冬期割増 施工地域補正 積雪寒冷地補正 現場環境改善費 契約保証補正 週休二日補正	40 01 開削・小口径推進工事等 00 冬期割増なし 00 施工地域補正なし 00 積雪寒冷地補正なし 00 必要なし 01 金銭的保証 02 4週8休以上(月単位)		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費					X1000
重要給水施設					Y100H002672
	1	式			
配水管耐震化工					Y211Y002677
	1	式			
配水管工					Y3200002678
	1	式			
配水管工資材費					Y44C6002683
	1.0	式			
ダクタイル鋳鉄管（内面珪粉粉体塗装） G X形S種φ200mm×5m					TZ0144 00
	42	本			
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） G X形曲管φ200×5 5/8°					F0001 00
	1	個			
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） G X形曲管φ200×45°					TZ1714 00
	2	個			
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） G X形二受T字管φ200×φ200					TZ1609 00
	1	個			
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） G X形両受短管φ200					TZ1844 00
	1	個			
ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉粉体塗装） G X形乙字管φ200×300H					TZ1864 00
	2	個			
G X形受挿付ソフトシール仕切弁 FCD 内ネジφ200 10K					TZ6184 00
	1	個			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
G X形両受ソフトシール仕切弁 FCD 内ネジφ200 10K	1	個			TZ6174 00
不断水分岐K形受口 (DCIP用) 材料費 φ200×200	1	基			F0004 00
不断水簡易ハーフ設置工事 DCIP用 φ200 材料費	1	個			TZZ0195 00
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面珪酸粉体塗装) K形管帽 φ200	1	個			TZZ1847 00
VC片落 ヨート φ200c×150v	1	個			TZZ0013 00
仕切弁筐類 口環付斜式弁筐 (加圧FCD製・頭部φ300) H=625~820	4	個			TZZ0840 00
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁筐座台 (丸型再生プラスチック製) H=50	4	個			TZZ0928 00
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁基礎用底版 (角形コンクリート製) W500×D300×H60	4	個			TZZ0929 00
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面珪酸粉体塗装) G X形ライナ φ200	4	個			TZ1914 00
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面珪酸粉体塗装) G X形切管ユニット (G-Link) φ200	8	個			TZ1944 00
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面珪酸粉体塗装) G X形継ぎ輪 φ200	1	個			TZ1824 00
ダクタイル鋳鉄異形管 (内面珪酸粉体塗装) G X形帽 φ200	1	個			TZ1804 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
耐震型K形特殊押輪 φ 200	1	組			F0011 00
識別マーカー 青色	13	個			F0012 00
排泥弁工資材費	1.0	式			Y44CA002688
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 T S - V P (H I) φ 150 × 4m JIS K 6742	1	本			TZ2159 00
塩ビ製継手 H I エルボ φ 150	3	個			TZ3119 00
配水管工労務費	1.0	式			Y45W5000001
鋳鉄管吊込み据付工：機械 φ 2 0 0	219.1	m			SZ0010 00 施工 第0 -0001号表
G X形継手接合工 直管 φ 2 0 0	40	口			SZ0070 00 施工 第0 -0003号表
G X形継手接合工 異形管 φ 2 0 0	4	口			SZ0070 00 施工 第0 -0004号表
G X形継手接合工 G - L i n k (異形管) φ 2 0 0	8	口			SZ0070 00 施工 第0 -0005号表
鋳鉄製仕切弁設置工(縦型) φ 2 0 0	2	基			SZ0550 00 施工 第0 -0006号表
ねじ式弁筐設置工 A、B形 1号 底版 有り	4	箇所			SZ0690 00 施工 第0 -0007号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手工 φ 2 0 0 特殊押輪	1	口			SZ0020 00 施工 第0 -0008号表
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) φ 2 0 0	5	口			SZ0455 00 施工 第0 -0009号表
管明示シート工 W 1 5 0 mm × 5 0 m 2 倍	218.9	m			SZ0160 00 施工 第0 -0010号表
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 2 0 0	219.1	m			SZ0120 00 施工 第0 -0011号表
管明示テープ工：鋳鉄管 φ 2 0 0 × 5 0 0 0 天端明示無し	219.1	m			SZ0150 00 施工 第0 -0012号表
通水試験工 給水車不使用	219.1	m			SZ1011 00 施工 第0 -0013号表
調整データ		調整式			#0040
不断水分岐K形受口 (DCIP用) 工事費 φ 200 × 200	1	箇所			F0005 00
不断水簡易バ'ルブ'設置工事 DCIP用 φ 200 工事費	1	箇所			TZZ0196 00
排泥弁工務費	1.0	式			Y45W5000014
硬質塩化ビニル管据付工 φ 1 5 0	3.8	m			SZ0300 00 施工 第0 -0015号表
T S継手工 φ 1 5 0	6	口			SZ0310 00 施工 第0 -0016号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管切断工 φ150	5	口			SZ0500 00 施工 第0 -0017号表
管明示テープ工：硬質塩化ビニル管 φ150×5000 天端明示無し	3.8	m			SZ0340 00 施工 第0 -0018号表
管明示シート工 W150mm×50m 2倍	3.8	m			SZ0160 00 施工 第0 -0010号表
本管土工	1.0	式			Y45W5000002
本管土工 市道部	1	式			V0001 00 施工 第0 -0019号表
給水分岐替工	1	式			Y211R002717
給水工	1	式			Y3200002718
給水工資材費	1.0	式			Y4429002719
水道用ポリエチレン管 1種2層φ20	7.2	m			TZ2512 00
ダクタイル鋳鉄管用耐震型ボール分水栓(ボール式) DIP-A形 φ200×20mm	1	個			TZZ0505 00
分止水栓用インサートスリーブ(密着銅コブ) φ20	1	個			TZZ1659 00
伸縮可とう離脱防止継手 分止水栓用サット φ20 SKXタイ	3	個			TZZ0671 00

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
青銅合金製止水栓類 ホ-ル式止水栓(乙型) φ20	1	個			TZZ0970 00
伸縮可とう離脱防止継手 ソケット φ20 SKXタイプ	1	個			TZZ0634 00
仕切弁筐類 止水栓筐(ホ-ルダ-製・PVC製・蓋-FCD製) φ100×H600	1	個			TZZ0863 00
配管用炭素鋼鋼管(白管) 50A×4.0m	1	本			TN165 00
識別マーカー 水色	1	個			F0012 00
給水工労務費	1.0	式			Y45W5000027
ポリエチレン管布設工 φ20	7.2	m			SZ0350 00 施工 第0 -0036号表
サドル分水栓建込み工 鋳鉄管 φ200 φ20	1	箇所			SZ2010 00 施工 第0 -0037号表
コア取付工 φ20	1	箇所			SZ2015 00 施工 第0 -0038号表
ポリエチレン管継手工 φ20	2	口			SZ0360 00 施工 第0 -0039号表
止水栓取付け工 PP用 φ20	1	箇所			SZ2020 00 施工 第0 -0040号表
ポリエチレン管切断工 φ20	3	口			SZ0510 00 施工 第0 -0041号表

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小口径鋼管据付工：人力 φ 5 0	1.8	m			SZ0170 00 施工 第0 -0042号表
小口径鋼管切断工 φ 5 0	1	箇所			SZ0180 00 施工 第0 -0043号表
管明示シート工 W 1 5 0 mm × 5 0 m 2 倍	7.2	m			SZ0160 00 施工 第0 -0010号表
給水土土工費	1.0	式			Y44A0002720
給水土工	1	式			V0002 00 施工 第0 -0044号表
産廃処分工	1	式			Y2120002822
産廃処分工	1	式			Y33K5000021
産廃処分工	1.0	式			Y45W5000125
調整データ		調整式			#0040
AS殻処分費	16.6	t			W0001
As切断排水処分費	4.2	t			W0003
安全工					Y2121002865

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導員					Y3200002678
	1	式			
交通誘導員					Y4400002679
	1	式			
交通誘導警備員 B [0.908]					R0900 00
	32	人			
直接工事費					
営 繕 費					Z0006
		式			
工事名標示板加算額 (木材使用・据付撤去含む)					T9940 00
	2	基			
共通仮設費 対象額算出					
		式			
共通仮設費 (率分)					Z0013
		式			
共通仮設費					
純工事費					
現場管理費 対象額算出					
		式			
現場管理費					
		式			

本 工 事 費 内 訳 表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費 対象額算出						
			式			
一般管理費等						
			式			
工事価格						
工事価格（改め）						
消費税相当額						
			式			
工事費計						

施 工 内 訳 表

頁0-0011

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管吊込み据付工：機械 SZ0010 φ 2 0 0	10	m			施工 第0 -0001号表
配管工 [0.764]	0.10	人			R0300 0.1*1
普通作業員 [0.828]	0.16	人			R0030 0.16*1
クレーン付トラック運転 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	1.41	h			SZ8060 1.41*1 施工 第0-0002号表
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=4 φ 2 0 0 C=1 少ない D=1 良好					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0012

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クレーン付トラック運転 SZ8060 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	1	h			施工 第0 -0002号表
運転手 (特殊) [0.778]	0.17	人			R0120
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	5.30	L			T0250
トラック [クレーン装置付] 4 ~ 4 . 5 t 積 2 . 9 t 吊	1.00	h			M0343
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	h			
A=2 4 t 積 2 . 9 t 吊					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0013

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
G X 形継手接合工 SZ0070 直管 φ 2 0 0	1	口			施工 第0 -0003号表
配管工 [0.764]	0.06	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.06	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 直管 B=4 φ 2 0 0					

G X 形継手接合工 SZ0070 異形管 φ 2 0 0	1	口			施工 第0 -0004号表
配管工 [0.764]	0.07	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.07	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=2 異形管 B=4 φ 2 0 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
G X形継手接合工 SZ0070 G - L i n k (異形管) φ 2 0 0	1	口			施工 第0 -0005号表
配管工 [0.764]	0.07	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.07	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
割増					+00
*** 単位当たり ***	1	口			
A=4 G - L i n k (異形管) B=4 φ 2 0 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0015

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄製仕切弁設置工(縦型) SZ0550 φ 2 0 0	1	基			施工 第0 -0006号表
配管工 [0.764]	0.05	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.08	人			R0030
クレーン付トラック運転 機 - 1 4 t 積 2 . 9 t 吊	0.57	h			SZ8060 施工 第0-0002号表
*** 単位当たり ***	1	基			
A=1 縦型 B=4 φ 2 0 0 C=1 設置					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
ねじ式弁筐設置工 SZ0690 A、B 形 1 号 底板 有り	1	箇所			施工 第0 -0007号表
普通作業員 [0.828]	0.04	人			R0030
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 A、B 形 1 号 B=2 底板 有り (A、B 形の場合のみ選択可) C=1 設置					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メカニカル継手工 SZ0020 φ 2 0 0 特殊押輪	1	口			施工 第0 -0008号表
配管工 [0.764]	0.09	人			R0300 0.07*1.3
普通作業員 [0.828]	0.09	人			R0030 0.07*1.3
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 継手 B=4 φ 2 0 0 C=1 普通継手 D=2 特殊押輪 E=6 押しボルト数 (特殊押輪使用の場合のみ)					
F=6 T 頭ボルト数 (特殊押輪使用の場合のみ) G=1 少ない H=1 良好					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0017

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) SZ0455 φ 2 0 0	1	口			施工 第0 -0009号表
特殊作業員 [0.769]	0.05	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.09	人			R0030
エンジンカッター損料	0.05	日			TZ8252
諸雑費	30.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 切断 B=5 φ 2 0 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0018

[illegible]

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0019

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレンスリーブ被覆工 SZ0120 φ 2 0 0	100	m			施工 第0 -0011号表
配管工 [0.764]	0.43	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.43	人			R0030
ポリエチレンスリーブ φ 2 0 0 × 6 . 0 m	120.00	m			TZ8015
溶剤浸透防護スリーブ用ナイロンテープ 巾50mm	104.00	m			TZ8052
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4 φ 2 0 0 B=2 粘着テープ C=0 ポリエチレンスリーブ割増係数 D=0 固定バンド割増係数					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0020

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管明示テープ工：鋳鉄管 SZ0150 φ 2 0 0 × 5 0 0 0 天端明示無し	100	m			施工 第0 -0012号表
普通作業員 [0.828]	0.12	人			R0030
管明示テープ（エコポリ製・印刷表示付） W50mm × t0.15mm 粘着	5.00	m			TZ7112
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5 φ 2 0 0 × 5 0 0 0 天端明示無し B=5 管明示テープ数量（m） C=2 ビニル製・印刷表示付 W50mm × t0.15mm 粘着					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
通水試験工 SZ1011 給水車不使用	1	m			施工 第0 -0013号表
通水試験工 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1.00	日			SZ1010 施工 第0-0014号表
m当たり		m			+00
*** 単位当たり ***	1	m			
A=5 給水車不使用					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 SZ1010 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1	日			施工 第0 -0014号表
配管工 [0.764]	3.00	人			R0300
普通作業員 [0.828]	3.00	人			R0030
器具損料及び諸雑費	20.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 既設管と連絡して給水車が不要の場合					

硬質塩化ビニル管据付工 SZ0300 φ 1 5 0	10	m			施工 第0 -0015号表
配管工 [0.764]	0.18	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.26	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 据付 B=11 φ 1 5 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0022

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
T S継手工 SZ0310 φ 1 5 0	2	口			施工 第0 -0016号表
配管工 [0.764]	0.07	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.07	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 合 計 ***	2	口			
*** 単位当たり ***	1	口			
A=11 φ 1 5 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0023

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管切断工 SZ0500 φ 1 5 0	1	口			施工 第0 -0017号表
配管工 [0.764]	0.02	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.02	人			R0030
諸雑費	5.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=1 切断 B=11 φ 1 5 0					

管明示テープ工：硬質塩化ビニル管 SZ0340 φ 1 5 0 × 5 0 0 0 天端明示無し	100	m			施工 第0 -0018号表
普通作業員 [0.828]	0.11	人			R0030
管明示テープ（エコポリ製・印刷表示付） W50mm × t0.15mm 粘着	5.00	m			TZ7112
*** 合 計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=8 φ 1 5 0 × 5 0 0 0 天端明示無し B=5 管明示テープ数量（m） C=2 ビニル製・印刷表示付 W50mm × t0.15mm 粘着					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0024

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本管土工 V0001 市道部	1	式			施工 第0 -0019号表 特単単価適用日：07年06月15日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	464.3	m			SPD321 施工 第0-0020号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³) 舗装厚 0cm超え10cm以下	140.5	m ²			SZA231 施工 第0-0021号表
機械掘削工 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	161.9	m ³			SZA211 施工 第0-0023号表
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m ³)	89.1	t			TU360
機械埋戻工 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	66.8	m ³			SZA221 施工 第0-0025号表
クラッシュラン C-40 40~0mm	58.2	m ³			T8321
機械埋戻工 ｸﾛｰﾗ型 山0.28m ³ (平0.2m ³)	46.5	m ³			SZA221 施工 第0-0025号表
路盤工 下層路盤 一層仕上り厚さ 20cm	140.5	m ²			SZA240 施工 第0-0027号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 15cm	140.5	m ²			SZA240 施工 第0-0029号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 粗粒度(20) 再生アスファルト合材を使用する	140.5	m ²			SZA320 施工 第0-0030号表
ダンプ運搬工(2t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m ³ (平0.20m ³)	161.9	m ³			SZA260 施工 第0-0033号表
整地 残土受入れ地での処理	161.9	m ³			SPA109 施工 第0-0035号表

000000000000

福 島 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0026

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 アスファルト舗装版 標準単価： 673.26 機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00%	15cm以下		施工 第0 -0020号表 1	m
MC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 超低騒音	
R0020 特殊作業員 [0.769]		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 [0.775]		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 [0.828]		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径 4 5 c m (1 8 インチ)		23.29%	TPTSD05 ブレード (コンクリートカッタ) 径 1 8 インチ (4 5 c m)	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー スタンド	
*** 単位当たり ***				
A=1 アスファルト舗装版 B=1 15cm以下 E=1 全ての費用 F=1 土木工事標準積算基準 - 3 - - 1				

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0027

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版直接掘削積込み工 SZA231 クローラ型 山 0 . 2 8 m ³ (平 0 . 2 0 m ³) 舗装厚 0 c m 超え 1 0 c m 以下	100	m ²			施工 第0 -0021号表
土木一般世話役 [0.775]	0.42	人			R0010
普通作業員 [0.828]	0.63	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m ³ (平積 0 . 2 m ³)	3.35	h			SZ8020 施工 第0-0022号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			
A=1 クローラ型 山 0 . 2 8 m ³ (平 0 . 2 0 m ³) B=1 舗装厚 0 c m 超え 1 0 c m 以下 C=2 ハック材 排ガス対策型 (第 1 次基準値) 使用 D=1 補正なし					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0028

[illegible]

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0029

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械掘削工 SZA211 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0 -0023号表
土木一般世話役 [0.775]	1.90	人			R0010
普通作業員 [0.828]	5.00	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	11.10	h			SZ8020 施工 第0-0024号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 加-5型 山0.28m3 (平0.2m3)					

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0030

[illegible]

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0031

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械埋戻工 SZA221 加-ラ型 山0.28m3 (平0.2m3)	100	m3			施工 第0 -0025号表
土木一般世話役 [0.775]	2.50	人			R0010
普通作業員 [0.828] 埋戻し+締固め	6.80	人			R0030
バックホウ運転 機 - 1 クローラ型 山 0 . 2 8 m3 (平積 0 . 2 m3)	7.60	h			SZ8020 施工 第0-0024号表
タンバ運転 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	3.00	日			SZK511 施工 第0-0026号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 加-ラ型 山0.28m3 (平0.2m3)					

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0032

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タンバ運転 SZK511 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	1	日			施工 第0 -0026号表
特殊作業員 [0.769]	1.00	人			R0020
レギュラーガソリン スタンド	5.00	L			T0240
タンバ及びランマ 6 0 ~ 8 0 kg	1.38	供用日			K2620
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 6 0 ~ 8 0 kg B=1 運転労務数量 C=5 燃料消費量 D=1.38 賃料数量					

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0033

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路盤工 SZA240 下層路盤 一層仕上り厚さ 20cm	100	m2			施工 第0 -0027号表
普通作業員 [0.828]	0.78	人			R0030
クラッシャラン C - 4 0 4 0 ~ 0 mm	25.40	m 3			T8321
タンバ運転 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	0.45	日			SZK511 施工 第0-0028号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 施工幅 1 . 8 m未満 B=1 下層路盤 C=20 一層仕上り厚さ (cm) D=3 クラッシャラン E=2 振動ロー 排出ガス対策型(第1基) 使用					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0034

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タンバ運転 SZK511 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	1	日			施工 第0 -0028号表
特殊作業員 [0.769]	1.00	人			R0020
レギュラーガソリン スタンド	4.00	L			T0240
タンバ及びランマ 6 0 ~ 8 0 kg	1.61	供用日			K2620
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 6 0 ~ 8 0 kg B=1 運転労務数量 C=4 燃料消費量 D=1.61 賃料数量					

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0035

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路盤工 SZA240 上層路盤 一層仕上り厚さ 15cm	100	m2			施工 第0 -0029号表
普通作業員 [0.828]	0.78	人			R0030
粒度調整碎石 M - 4 0 4 0 ~ 0 mm	19.05	m 3			T8344
タンバ運転 機 - 3 1 6 0 ~ 8 0 kg	0.45	日			SZK511 施工 第0-0028号表
諸雑費	1	式			#99
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 施工幅 1 . 8 m未満 B=2 上層路盤 C=15 一層仕上り厚さ (cm) D=2 粒度調整碎石 E=2 振動ロー 排出ガス対策型(第 1 基) 使用					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0036

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト舗装工（人力）／車道・路肩 SZA320 粗粒度（ 2 0 ） 再生アスファルト合材を使用する	100	m2			施工 第0 -0030号表
土木一般世話役 [0.775]	0.40	人			R0010 100/250
特殊作業員 [0.769]	0.80	人			R0020 200/250
普通作業員 [0.828]	1.60	人			R0030 400/250
再生材アスファルト合材 粗粒度（ 2 0 ） 最大粒径 2 0 mm	12.57	t			T8410
アスファルト乳剤 P K - 3 プライム用、P K - 4 タック用	126.00	L			T0211
振動ローラ運転 機 - 2 3 ハンドガイド式 0 . 5 ～ 0 . 6 t	0.40	日			SZK593 100/250 施工 第0-0031号表
振動コンパクタ運転 機 - 2 3 前進型 4 0 ～ 6 0 kg	0.80	日			SZK730 200/250 施工 第0-0032号表
砂散布費	3.00	%			#01
諸雑費	17.00	%			#09
*** 合 計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=5 仕上り厚（ cm ） B=2 粗粒度（ 2 0 ） C=1 混合 A S 使用しない D=2 プライムコート E=1 砂散布が必要					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0037

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F=2 再生アスファルト合材を使用する					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
振動ローラ運転 SZK593 機 - 2 3 ハンドガイド式 0.5 ~ 0.6 t	1	日			施工 第0 -0031号表
特殊作業員 [0.769]	1.00	人			R0020
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	3.00	L			T0250
振動ローラ [ハンドガイド式] 質量 0.5 ~ 0.6 t	1.23	供用日			MD130
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 ハンドガイド式 0.5 ~ 0.6 t B=3 燃料消費量 C=1.23 機械損料数量					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0038

[illegible]

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0039

[illegible]

000000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0040

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 SZK506 機 - 2 2 2 t 積級	1	日			施工 第0 -0034号表
運転手 (一般) [0.793]	1.00	人			R0130
軽油 ミニローリー (バトロール給油)	21.00	L			T0250
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	1.29	供用日			MA301
ダンプトラックタイヤ損耗 2 t 路面状況 良好 【 損料表 】	1.29	供用日			K1003
諸雑費	1	式			#99
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 2 t 積級 B=1 補正なし C=1 タイヤの損耗状態 良好 D=1 運転労務数量 E=21 燃料消費量					
F=1.29 機械損料数量					

00000000000

福 島 県

金抜き

施工パッケージ内訳表

頁0-0041

標準単価： 機械構成比： 労務構成比： 材料構成比： 市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価： 123.38 機械構成比： 23.13% 労務構成比： 51.64% 材料構成比： 25.23% 市場単価構成比： 0.00%			施工 第0 -0035号表 1	m3
バックホウ [クローラ型] 山積 0 . 8 m3 (平積 0 . 6 m3) K9203		23.13%	バックホウ [クローラ型] 賃料 TPK9203	
運転手 (特殊) [0.778] R0120		51.64%	運転手 (特殊) TPR0120	
軽油 ミニローリー (パトロール給油) T0250		25.23%	軽油 1 . 2 号 パトロール給油 TPT0250	
*** 単位当たり ***				
A=1 残土受入れ地での処理 D=1 土木工事標準積算基準 - 1 - 2 0				

施 工 内 訳 表

頁0-0042

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管布設工 SZ0350 φ 2 0	10	m			施工 第0 -0036号表
配管工 [0.764]	0.07	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.12	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 φ 2 0 B=1 据付					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
サドル分水栓建込み工 SZ2010 鋳鉄管 φ 2 0 0 φ 2 0	1	箇所			施工 第0 -0037号表
配管工 [0.764]	0.09	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.09	人			R0030
諸雑費	12.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=5 鋳鉄管 φ 2 0 0 B=2 φ 2 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0043

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コア取付工 SZ2015 φ 2 0	1	箇所			施工 第0 -0038号表
配管工 [0.764]	0.03	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.03	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 φ 2 0					

ポリエチレン管継手工 SZ0360 φ 2 0	1	口			施工 第0 -0039号表
配管工 [0.764]	0.02	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.02	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=2 φ 2 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0044

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
止水栓取付け工 SZ2020 P P 用 φ 2 0	1	箇所			施工 第0 -0040号表
配管工 [0.764]	0.05	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.02	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 止水栓取付け B=4 P P 用 C=2 φ 2 0					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
ポリエチレン管切断工 SZ0510 φ 2 0	1	口			施工 第0 -0041号表
配管工 [0.764]	0.01	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.01	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	口			
A=2 φ 2 0 B=1 切断					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0045

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小口径鋼管据付工：人力 SZ0170 φ 5 0	10	m			施工 第0 -0042号表
配管工 [0.764]	0.18	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.18	人			R0030
*** 合 計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6 φ 5 0					

小口径鋼管切断工 SZ0180 φ 5 0	1	箇所			施工 第0 -0043号表
配管工 [0.764]	0.02	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.01	人			R0030
諸雑費	3.00	%			#09
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=6 φ 5 0					

00000000000

福 島 県

金抜き

施 工 内 訳 表

頁0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
給水土工 V0002	1	式			施工 第0 -0044号表 特単単価適用日：07年06月15日
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	2.0	m			SPD321 施工 第0-0020号表
舗装版直接掘削積込み工 クローラ型 山0.28m3(平0.20m3) 舗装厚 0cm超え10cm以下	0.6	m2			SZA231 施工 第0-0021号表
機械掘削工 クローラ型 山0.28m3(平0.2m3)	3.3	m3			SZA211 施工 第0-0023号表
機械埋戻工 クローラ型 山0.28m3(平0.2m3)	1.3	m3			SZA221 施工 第0-0025号表
クリンカアッシュ(土質改良材) (単位容積重量 1.0t/m3)	1.7	t			TU360
機械埋戻工 クローラ型 山0.28m3(平0.2m3)	0.4	m3			SZA221 施工 第0-0025号表
クラッシャラン C-40 40~0mm	0.5	m3			T8321
機械埋戻工 クローラ型 山0.28m3(平0.2m3)	2.3	m3			SZA221 施工 第0-0025号表
路盤工 下層路盤 一層仕上り厚さ 20cm	0.6	m2			SZA240 施工 第0-0027号表
路盤工 上層路盤 一層仕上り厚さ 15cm	0.6	m2			SZA240 施工 第0-0029号表
アスファルト舗装工(人力)/車道・路肩 粗粒度(20) 再生アスファルト合材を使用する	0.6	m2			SZA320 施工 第0-0030号表
ダンプ運搬工(2t積車) 運搬距離 L=2km クローラ型 山0.28m3(平0.20m3)	0.9	m3			SZA260 施工 第0-0033号表

000000000000

福 島 県

金抜き

登録単価一覧表

頁0-0048

単価コード	単価名称・規格1・規格2	単位	単価	管理費区分
F0001	ダクタイル鋳鉄異形管（内面珪粉体塗装） GX形曲管φ200×5 5/8°	個		全間接費対象額
F0004	不断水分岐K形受口（DCIP用） 材料費 φ200×200	基		全間接費対象額
F0011	耐震型K形特殊押輪 φ200	組		全間接費対象額
F0012	識別マーカー 青色	個		全間接費対象額
F0005	不断水分岐K形受口（DCIP用） 工事費 φ200×200	箇所		一般管理費のみ対象額
TN165	配管用炭素鋼鋼管（白管） 50A×4.0m	本		全間接費対象額
F0012	識別マーカー 水色	個		全間接費対象額

特殊基礎単価一覧表

頁0-0049

[illegible]

令和7年度

契約番号 第

号

重要給水施設配水管耐震化事業管路耐震化(深野地区)工事

南相馬市原町区深野字塩塚地内外

数量計算書

令和 7 年 7 月

南相馬市建設部水道課

数量総括表

工種区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	数量計算	
配水管替布設工							
	配水管布設替工						
		資材費					
			ダクタイル鋳鉄管 GX形 φ200×5m	本	42		
			G-Link GX形 φ200	組	8		
			ライナ GX形 φ200	組	4		
			曲管 GX形 φ200×5° 5/8	個	1		
			曲管 GX形 φ200×45°	個	2		
			乙字管 GX形 φ200×H300	個	2		
			二受丁字管 GX形 φ200×200	個	1		
			短管1号 GX形 φ200	個	1		
			管栓 GX形 φ200	個	1		
			管帽 K形 φ200	個	1		
			特殊押輪 K形 φ200	組	1		
			継輪 GX形 φ200	個	1		
			受挿しソフトシール仕切弁 GX形 φ200	基	1		
			両受ソフトシール仕切弁 GX形 φ200	基	1		
			仕切弁筐 H=625～820	組	2		
			弁筐座台 H=50	個	2		
			弁基礎用底版 W500×D300×H60	個	2		
			識別マーカ 青色	個	13		
		労務費					
			鋳鉄管布設工 φ200	m	219.1		
			鋳鉄管切断工 φ200	□	5		
			GX形継手接合工 直管部 φ200	□	40		
			GX形継手接合工 異形管部 φ200	□	4		
			GX形継手接合工 異形管部G-Link φ200	□	8		
			メカニカル継手工 特殊押輪 φ200	□	1		
			仕切弁設置工 φ200	基	2		

数 量 総 括 表

工種区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	数量計算	
			仕切弁筐設置工	箇所	2		
			ポリスリーブ被覆工 φ 200	m	219.1		
			管明示テープ取付工 φ 200	m	219.1		
			明示シート	m	218.9		
			通水試験工	m	219.1		
			洗管工 φ 200	回	1		
		土工					
			舗装切断工	m	447.2		
			舗装版直接掘削積込み工	m2	134.8		
			機械掘削工	m3	152.4		
			クリンカアッシュ	t	84.3		
			機械埋戻工	m3	63.2		
			クラッシャラン	m3	53.4		
			機械埋戻工	m3	42.7		
			ダンプ運搬工	m3	152.4		
			整地	m3	152.4		
			路盤工 下層路盤	m2	134.8		
			路盤工 上層路盤	m2	134.8		
			アスファルト舗装工 粗粒度20	m2	134.8		
	排泥弁工						
		資材費					
			硬質塩化ビニル管 φ 150 × 4m	本	1		
			塩ビ製継手 HIエルボ φ 150	個	3		
			CVジョイント φ 200 × 150	個	1		
		労務費					
			硬質塩化ビニル管据付工 φ 150	m	3.8		
			硬質塩化ビニル管切断工 φ 150	口	5		
			TS継手工 φ 150	口	6		

数 量 総 括 表

工種区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	数量計算	
			明示シート	m	3.8		
			管明示テープ工	m	3.8		
		土工					
			舗装切断工	m	5.9		
			舗装版直接掘削積込み工	m2	1.8		
			機械掘削工	m3	2.4		
			クリンカアッシュ	t	1.0		
			機械埋戻工	m3	0.7		
			クラッシャラン	m3	1.3		
			機械埋戻工	m3	1.1		
			ダンプ運搬工	m3	2.4		
			整地	m3	2.4		
			路盤工 下層路盤	m2	1.8		
			路盤工 上層路盤	m2	1.8		
			アスファルト舗装工 粗粒度20	m2	1.8		
	不断水工						
		資材費					
			不断水分岐工事(バルブ付) DCIP用 φ200×200	個	1		
			不断水簡易バルブ設置工事 DCIP用 φ200	個	1		
			仕切弁筐類 H=810～1010	個	2		
			弁筐座台 H=50	個	2		
			弁基礎用底版 W500×D300×H60	個	2		
		労務費					
			ねじ式弁筐設置工 AB1号 底版有	箇所	2		
			調整データ				
			不断水分岐工事(バルブ付) DCIP用 φ200×200	箇所	1		
			不断水簡易バルブ設置工事 DCIP用 φ200	箇所	1		
		土工					
			舗装切断工	m	11.2		

数 量 総 括 表

工種区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	数量計算	
			舗装版直接掘削積込み工	m2	4.0		
			機械掘削工	m3	7.1		
			クリンカアッシュ	t	3.9		
			機械埋戻工	m3	2.9		
			クラッシャー	m3	3.5		
			機械埋戻工	m3	2.8		
			ダンプ運搬工	m3	7.1		
			整地	m3	7.1		
			路盤工 下層路盤	m2	4.0		
			路盤工 上層路盤	m2	4.0		
			アスファルト舗装工 粗粒度20	m2	4.0		
	給水分岐替工						
		資材費					
			ダクト用鋳鉄管用耐震型サドル分水栓 DIP-A形 φ200×20mm	個	1		
			分止水栓用インサートスリーブ(密着銅コブ) φ20	個	1		
			水道用ポリエチレン管 1種2層 φ20	m	7.2		
			青銅合金製止水栓類 ボール式止水栓(乙型) φ20	個	1		
			伸縮可とう離脱防止継手 分止水栓用ソケット φ20	個	3		
			伸縮可とう離脱防止継手 ソケット φ20	個	1		
			配管用炭素鋼鋼管(白管) 50A×4.0m	個	1		TN165
			仕切弁筐類 φ100×H600	個	1		
			識別マーカー 水色	個	1		
		労務費					
			サドル分水栓建込み工 鋳鉄管 φ200	箇所	1		
			コア取付工 φ20	箇所	1		
			ポリエチレン管布設工 φ20	m	7.2		
			小口径鋼管据付工:人力 φ50	m	1.8		
			小口径鋼管切断工 φ50	口	1		

数 量 総 括 表

工種区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	数量計算	
			ポリエチレン管継手工 φ 20	箇所	2		
			ポリエチレン管切断工 φ 20	口	3		
			止水栓取付け工 P P 用 φ 20	箇所	1		
			管明示シート工	m	7.2		
		土工					
			舗装切断工	m	2.0		
			舗装版直接掘削積込み工	m2	0.6		
			機械掘削工	m3	3.3		
			クリンカアッシュ	t	1.7		
			機械埋戻工	m3	1.3		
			クラッシャー	m3	0.5		
			機械埋戻工	m3	0.4		
			ダンプ運搬工	m3	0.9		
			整地	m3	0.9		
			路盤工 下層路盤	m2	0.6		
			路盤工 上層路盤	m2	0.6		
			アスファルト舗装工 粗粒度20	m2	0.6		
	産廃処分工						
		産廃処分					
			調整データ				
			産廃処理工 汚泥	t	4.2		
			産廃処理工 As殻	t	16.6		
	安全工						
		安全工					
			交通誘導員B	人	32		

特 記 仕 様 書

工 事 番 号 : 2025000623
路 線 河 川 名 : 市道 北新田深野線
工 事 名 : 重要給水施設配水管耐震化事業管路耐震化(深野地区)5工区工事
工事施工箇所 : 南相馬市原町区深野字塩塚地内外

- 1 本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編」に基づき実施しなければならない。
- 2 本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。
ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。
 - ・ 第 4 章 情報共有システム・遠隔臨場
 - ・ 第 5 章 労働者確保に関する積算方法の試行工事
 - ・ 第 6 章 快適トイレの設置(災害復旧工事は除く)
 - ・ 第 7 章 週休 2 日確保モデル工事等
 - ・ 第 8 章 建設キャリアアップシステム活用工事
 - ・ 第 9 章 ふくしま M E 資格取得者の現場活用
 - ・ 第 2 3 章 法定外の労災保険の付保
 - ・ 第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告
 - ・ 第 2 5 章 再生資源利用計画書
 - ・ 第 2 6 章 再生資源利用促進計画書
 - ・ 第 2 9 章 その他
- 3 第 2 章 ~ 第 6 章、第 1 5 章 ~ 第 2 2 章が適用される場合は、具体の内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。
福島県ホームページ > 組織でさがす > 技術管理課 > 特記仕様書
- 4 本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。
- 5 設計図書として扱う図面は以下(別紙)のとおりとする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
位置図		1	
配管平面図		1	
配水管布設縦断図		2	
配水管布設横断図		2	
給水管布設平面図		1	
標準土工断面図		1	
給水管土工標準図		1	
施設標準図		1	
計	全 10 葉		

6 以下（別紙）の図面は参考図とする。

図 面 名	図面番号	葉数	適 用
計	全 葉		

7 本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8 設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9 設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）」（福島県土木部）を活用すること。
—技術管理課ホームページ参照

南 相 馬 市

☒ 第 1 章 一般共通事項

- ☒ 1 下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

- | | | | |
|---------------|----------------------------|---|---------------------------------------|
| 1) 国有・民有保安林 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 2) 鳥獣保護区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 3) 国立・県立公園区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 4) 鉄道近接区域 | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |
| 5) その他 () | ☐ 有 | ・ | ☒ 無 |

- ☒ 2 施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第 5 章 埋設物（共通仕様書 土木工事編）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

- ☐ 3 福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係 ☐ 有 ・ ☐ 無
有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

- ☐ 4 河道掘削に伴う工事測量

河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。

☐ 第 2 章 フレックス工事

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

☐ 第 3 章 準備期間確保工事

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（○○日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

第 4 章 情報共有システム、遠隔臨場

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~情報共有システム及び遠隔臨場について、実施できない特段の理由等がある場合は、受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。~~

第 5 章 労働者確保に関する積算方法の試行工事

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

☐ 1 ~~労働者確保に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：_____％~~

☐ 2 ~~労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事~~

~~本工事は、「労働者確保及び労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事」である。~~

~~共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舍の維持・補修に要する費用）の割合：_____％~~

~~現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：_____％~~

~~第 6 章 快適トイレの設置~~

~~(本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

~~本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。~~

~~設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。~~

第 7 章 週休 2 日確保モデル工事等

(本章はすべての工事に該当する)

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「福島県土木部週休 2 日等工事試行要領」に定める工事のうち、☒として
いる箇所の対象工事である。

☒「週休 2 日確保モデル工事（発注者指定型）」 ☒月単位 ☐通 期

☐「週休 2 日確保交替制工事（発注者指定型）」 ☐月単位 ☐通 期

☐「完全週休 2 日モデル工事（発注者指定型）」

なお、「週休 2 日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休 2 日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「月単位の 4 週 8 休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休 2 日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第 8 章 ~~建設キャリアアップシステム活用工事~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~1 本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。~~

~~2 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。~~

~~(なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照)~~

第 9 章 ~~ふくしま ME (メンテナンスエキスパート) 資格取得者の現場活用~~

~~(本章はすべての工事に該当する)~~

~~(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)~~

☒ 第 10 章 総 則

☒ 1 施工計画書

工程管理はバーチャートにより行うものとする。

なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」
（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

☒ 2 工事用地等の使用

☐ 1) _____ 作業に係るヤードとして、別添「 _____ 図」によ
る土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

☒ 2) 使用にあたっての条件、制限等

施工機械・資材置場等は請負者にて、施工場所近傍に確保のこと。

☐ 3 関連工事

1) 工 事 名 : _____

2) 路河川名 : _____ 線・筋

3) 施工箇所 : _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

4) 注意・指示事項 : _____

☐ 4 支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目 : _____ 数量 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

☐ 5 工事現場発生品

1) 工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目 : _____

引渡時期 : _____

引渡場所 : _____

2) 従来施設の撤去により発生した _____ は、 _____ 材料として再
使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければな
らない。

☒ 6 建設副産物処理

☐ 1) 下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考
--------	-------	----

- ☑ 2) 下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設
As ガラ	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	世紀東急工業(株)福島舗材センター
As 切断排水	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	(株)モンマ
	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	

積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

- 3) 金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□ 7 中間検査に関すること

- 1) 以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、～ に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事 (工種)	実施時期	備考 (具体的な工種等)
竣工検査時に確認 困難な工事(工種) (足場、仮設を撤 去すると現場に行 けなくなる等。)	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 対象工種が完成してから足場、 仮設等を撤去するまでの間。	
不可視部の工事 (工種)で 2) に 示すもの	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 不可視部の施工が完了、 又は概ね完了した時。 ・ 鉄筋構造物については、 配筋が完了、又は概ね完了 した時。	2) に示す工事 (工種)
工期が 1 年以上 となる工事。	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 協議による。	
その他、発注者 が必要とする工 事(工種)	☐ 有 ・ ☐ 無	・ 製作、仮組みが完了した時。 ・ その他、発注者の指示による。	3) に示す工事 (工種)

注 1) 監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。

また必要に応じ実施時期を修正すること。

- 2) 不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

□杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良
□捨石均し、□被覆・根固め均し、□井筒潜函基礎、□山腹基礎床掘

- ☐ 上層路盤 (1,000m² 以上の工事)
☐ 現場打ちのボックスカルバート、擁壁 (鉄筋 Co)
☐ 橋台・橋脚、☐ 現場制作 P C 橋、☐ 床版
☐ 水門・樋門
☐ ブロック製作、ケーソン製作
☐ 覆工 Co の前段工事
☐ その他【

】

3) その他、発注者が必要とする工種 (工事) とは次のものとする。

- ☐ 桁の仮組立
☐ 水門扉、☐ 可動堰、☐ スノーシェッド、☐ ポンプ施設、☐ 除塵機、☐ 栈橋
☐ 堰堤 (Co、盛土)
☐ 堰 (工場制作)、ラバーダム
☐ 地盤変動等の影響が予想される掘削
☐ 仮橋、路面覆工 (一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
☐ 仮堤防 (本堤防と同等の機能を求める仮堤防)
☐ その他【

】

☑ 8 監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階 (確認時期)	備考
施工延長、縦横断測量等	起工測量	起工測量後	
変更資材も含む	資材検査	資材搬入後	
穿孔コア確認、水圧テスト実施	不断水工	不断水工実施時	
継手チェックシート提出	管布設・継手工	管布設時	
水圧試験実施前後、通水及びブロー	水圧試験	布設工事完了後	
手直しが生じた場合は再検査	完了検査	完成日前に 1 回	
必要に応じ、別途指示する	その他	監督員の指示	

□ 9 施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□ 1) 出来形管理

工 種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所
起工測量			
資材検査			
不断水工			

□ 2) 品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□ 3) 写真管理

工 種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度
-----	------	------	------

☐ 10 コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編」の「品質管理基準及び規格値」における「1セメント・コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘 要

☐ 11 用地取得及び支障物件

☐ 1) 工事区域内の用地確保 (☐ 済 ・ ☐ 一部未了)

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

☐ 2) 工事支障物件 : ☐ 有 ・ ☐ 無

【支障物件移転予定時期】 年 月 (☐ 上旬 ☐ 中旬 ☐ 下旬)

☒ 12 工事の履行報告 (工程会議)

工事着工後、履行状況については、 月末 に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☒ 13 交通誘導員の配置

交通誘導員は 施工箇所 に 2 人 配置する。

交替要員は 人 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☒ 14 作業工程

1) 全ての 作業は、 昼間 とし、時間帯は 8 : 30 ~ 17 : 00 時までとする。

2) 作業工程における注意事項 :

断水については、住民の方及び近接する工事との調整が必要になります。

3) 現道の使用規制について

現道は、 原則片側通行止め により本工事を施工するものとする。

4) 工事を施工しない日 ☐ 有 ・ ☐ 無 年 月 日

工事を施工しない時間帯 ☐ 有 ・ ☐ 無 : ~ :

「工事を施工しない時間帯」は、

☐ 工期全体 ☐ 上記「工事を施工しない日」 ☐ に適用する。

☐ 15 仮設☐ 1) 指定仮設の有無 ☐ 有 ☐ 無☐ 2) 指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

☐ 3) 下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名： _____ 数量等： _____

存置期間： _____

☐ 16 工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する
内容から選択して実施すること。

計 上 費 目	実施する 項 目 数	実 施 す る 内 容 (率 計 上 分)
現場環境改善 (仮設備関係)	()	用水・電力等の供給設備 緑化・花壇 ライトアップ施設 見学路及び椅子の設置 昇降設備の充実 環境負荷の低減
現場環境改善 (営繕関係)	()	現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 労働者宿舍の快適化 デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 現場休憩所の快適化 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善 (安全関係)	()	工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 盗難防止対策(警報器等) 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	()	完成予想図 工法説明図 工事工程表 デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 見学所(イノベーションセンター)の設置及び管理運営 パンフレット・工法説明ビデオ 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 社会貢献

☒ 17 工事名標示板本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を 2 基設置すること。

□ 18 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工 種	工 法	検体数	備 考
		検体	
		検体	
		検体	

□第 1 1 章 材 料

□ 1 設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□ 1) 一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□ 2) 再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離 4 0 km の範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□ 2 下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本

				・試験()
				確認資料・見本 ・試験()
				確認資料・見本 ・試験()

備考欄で種別を選択する。(試験のカッコ書きは試験方法を記入する)

- 3 下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資 材 名	規 格	調達地域等

☑第12章 一般施工

☑1 建設発生土の処理

- 1) 他工事への流用: □ 有 ・ □ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬距離 _____ km

☑2) 搬出先

受入場所: 南相馬市 地内

運搬距離 2 km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

☑2 他工事からの流用土

- 1) 他工事からの流用: □ 有 ・ ☑ 無

工事名: _____ 路河川名: _____

指定・施工場所: _____ 市・郡 _____ 町・村 大字 _____ 字 _____ 地内

運搬の有無: □ 有 ・ □ 無 (_____ km)

品 質: _____

品質の確認試験(_____)については、 _____ で実施する。

□ 3 購入土等

- 1) 購入土等の有無 : ☐ 有 ・ ☐ 無
- 2) 購入土等の種類 : ☐ 購入土 ・ ☐ 岩ズリ ・ ☐ その他 ()
- 3) 購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。
- 4) 購入土等が 1 工事あたり 1 , 0 0 0 m³ 以上の場合は、受注者は、工事で使用する購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□ 4 建設汚泥 (泥土) の処理

- 1) 汚泥 (泥土) は、 _____ による改良を行い、 _____ として再利用する。
- 2) 改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における _____ とする。
- 3) 改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。
なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。
- 4) 改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□ 5 レディーミクストコンクリートの養生

- 1) レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	☐ 普通ポルトランドセメント
	☐ 高炉セメント B 種 ¹⁾ ☐ 混合セメント B 種 ☐ フライアッシュセメント B 種 ☐ シリカセメント B 種
	☐ 早強ポルトランドセメント
気象条件	☐ 暑中コンクリート (日平均気温が 2 5 を超える場合)
	☐ 寒中コンクリート (日平均気温が 4 以下になる場合) ☐ 連続して、あるいはしばしば 構造物の露出状態 水で飽和される部分 ²⁾ ☐ 普通の露出状態

1) 「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html>

2) 水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

□ 6 塗装工

- 1) 塗装回数は下塗 _____ 回、中塗 _____ 回、上塗 _____ 回とする。

□ 2) 塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細 別	塗料の種類	目標塗膜厚 (μm)
工場塗装	下塗り 1 層		
	下塗り 2 層		
	中塗り 1 層		
現場塗装	中塗り 2 層		
	上塗り 1 層		
	上塗り 2 層		

□ 3) 素地調整 (ケレン) は _____ とする。

□ 4) 詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

□ 7 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工

□ 1) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。

□ 2) 受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□ 第 13 章 その他施工

□ 1 工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議のこと。

工 種	指 定 工 法	備考

□ 2 建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□ 3 重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工 種	機 種	規 格

- 4 ポリマー改質 型アスファルト混合物の使用 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する場合に記載

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質 型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 (単位 1 日につき台)	交通量塑性変形輪数 (単位 1 ミリメートルにつき回)	該当欄
第 1 種、第 2 種	3,000 以上	3,000	
第 3 種第 1 級及び第 2 級	3,000 未満		
第 4 種第 1 級		1,500	
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

- 5 植栽工 植栽に係る直接工事費が 50 万円以上となる工事の場合に記載
本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。
また、工事完成届提出時まで、植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

- 6 鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

- 第 14 章 ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編」第 1 編第 1 章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針の△印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

- 1 工事を行う基本方針（指針 P 13）

基本方針 1 すべての人が 快適 に利用できる施設

- 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
- 右利き、左利きに対応した施設
- 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
- 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
- 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
- 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
- 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設

- ☐ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
- ☐ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
- ☐ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
- ☐ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
- ☐ プライバシーに配慮された施設
- ☐ 天候や季節に左右されない施設
- ☐ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針 2 すべての人が 簡単 に利用できる施設

- ☐ 使い方を直感的に理解できる施設
- ☐ 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
- ☐ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針 3 すべての人が 安全 に利用できる施設

- ☐ 安全に対する配慮が等しく確保される施設
- ☐ 危険や間違いやすい状況が発生しない施設
- ☐ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
- ☐ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
- ☐ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
- ☐ 危険な部分が防護されている施設
- ☐ 四季を通じて安全な施設
- ☐ 災害時や不測の事態が生じて、安全に避難できる施設

基本方針 4 さりげなく 美しい 施設

- ☐ 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
- ☐ 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
- ☐ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
- ☐ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針 5 どのような状況にも 柔軟 に対応できる施設

- ☐ できる限り同じ手段で利用できる施設
- ☐ 利用者に応じた使い方が選べる施設
- ☐ 利用者のペースに合わせることができる施設
- ☐ 情報がその重要さに応じて提供される施設
- ☐ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

☐ 2 特に重点をおいて工事する項目・箇所

☐ 第 1 5 章 記録保存の資料作成

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

☐ 1 本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。

以下の資料を作成要領に基づき作成すること。

・道路構造物の記録保存資料

□ 2 本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。

以下の資料、作成要領に基づき作成すること。

・道路舗装構成等の記録保存資料

□ 第 1 6 章 1 日未満で完了する作業の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、施工実施にあたり、作業量が 1 日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「1 日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□ 第 1 7 章 施工箇所が点在する工事の積算

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、 工区（施工箇所○○）、

□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）

（なお、積算上の親工区は、 工区（施工箇所○○）とする。）

□ 第 1 8 章 落橋防止装置の溶接施工等について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□ 第 1 9 章 ICT 活用工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

1 本工事の発注方式は（ □受注者希望型 ・ □発注者指定型 ）である。

□ 2 ICT 活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（土工）」の対象工事である。

□ 3 ICT 活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（舗装工）」の対象工事である。

□ 4 ICT 活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部 ICT 活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について 3 次元データを活用する「ICT 活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

☑第 2 0 章 舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第 2 1 章 「総合評価方式 (標準型・簡易型) における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

□第 2 2 章 熱中症対策に関する現場管理費補正試行工事

(詳細は技術管理課ホームページを参照のこと)

本工事は、「熱中症対策に関する現場管理費補正試行要領」の対象工事である。

第 2 3 章 法定外の労災保険の付保

(本章はすべての工事に該当する)

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類 (証券等の写し) を提出しなければならない。

第 2 4 章 異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

1 異常気象時等の対象

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度 5 弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度 4 の場合も対象とする。

2 パトロール等の実施及び報告の内容について

作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

休工中であれば、必要に応じ 2 名以上を構成員とする警戒班 (巡視員) を出動させて巡回点検 (パトロール) を実施する。

天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。

危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、2 次災害防止に努める。

警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。

地震及び津波が発生した後に、作業を再開する前には、建設物、仮設物、資機材、建設機械、電気設備及び地盤、斜面状況等を十分点検する。

異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員 (連絡が取れない場合は、係長又は課長) に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、F A X 又はメールする。

3 報告期限について

(1) 大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後 1 時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

(2) 震度 5 弱以上の地震時

地震発生後 1 時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

第 2 5 章 再生資源利用計画書

(本章はすべての工事に該当する)

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第 2 6 章 再生資源利用促進計画書

(本章はすべての工事に該当する)

1 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

2 受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

3 受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（ 技術管理課ホームページ参照）の交付を求め、その写しを 5 年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第 9 条の規定によるものとする。（ 試行要領は技術管理課ホームページ参照）

4 受注者は、土壤汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例 技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

□第 2 7 章 三者協議

本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。

□第 2 8 章 国土強靱化事業の取組に関する広報

本工事は国土強靱化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靱化対策工事」の記載を行うこと。

記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。

主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

☑第 29 章 そ の 他

(1) 工事書類の簡素化について

- 1 . 本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。
- 2 . これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

(2) 電子納品について

- 1 . 本工事の提出書類について、可能な範囲で電子媒体（情報共有システム（ASP）・CD、DVD）による納品を行うものとする。
- 2 . 電子納品の対象となる成果品の種類や提出方法の詳細については、受注者と監督員が別途協議して決定するものとする。
- 3 . 電子納品により省資源・省スペース化や業務時間削減を目的としていることから、発注者・受注者両者の負担とならない範囲で実施することとする。
- 4 . 工事の電子納品に係る費用については、共通仮設費率に含まれるものとし、別途計上しない。

(3) 農地法許可手続

資材置き場、現場事務所、残土捨場等に農地を使用する場合は、農地法の許可を得ること。

(4) 道路工事に係る地区への周知

施工時期が決まり次第、監督員へ報告のこと。工事周知文は、月 1 回の市広報誌回覧時に合わせて回覧する。なお、これによらない場合は、請負者にて地区住民へ周知を行うこと。

水道工事施工管理基準

2 0 2 2 年

南 相 馬 市 水 道 課

1．水道工事施工管理基準

水道工事施工管理基準及び規格値

1. 目 的

この基準は、水道工事の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質規格の確保を図ることを目的とする。

2. 適 用

- (1) この基準は、南相馬市が発注する水道工事について適用する。ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物は除くものとする。また、この基準に記載のない事項については、県共通仕様書を準用するものとする。
- (2) 工事の種類、規模、施工条件により、この基準によりがたい場合は、特記仕様書又は、監督員の承諾を得て他の方法によることができ、応急処理、維持修繕工事は、監督員の承諾を得て他の方法によることができ、応急処理、維持修繕工事は、監督員の承諾を得て省略することができる。

3. 構 成

施 工 管 理	工 程 管 理
	出 来 形 管 理
	品 質 管 理
	写 真 管 理

4. 管理の実施

- (1) 請負者（以下「乙」という。）は、工事施工前に、施工管理計画及び施工管理担当者を定め施工計画書に記載しなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、適切な施工管理を行わせなければならない。
- (3) 乙は、測定(試験)等を工事の施工と平行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施しなければならない。
- (4) 乙は、測定(試験)等の結果を、その都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督員の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

5. 管理項目及び方法

(1) 工程管理

乙は、工程管理を工事内容に応じた方式（ネットワーク(PERT)又はバーチャート方式等）により作成した実施工程表により行うものとする。但し、応急修理又は維持工事等の当初工事計画が困難な工事内容については、省略できるものとする。

(2) 出来形管理

- 1) 乙は、出来形を県共通仕様書及び出来形管理基準表に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値とを対比して記録した出来形表又は出来形図を作成し、

管理するものとする。

- 2) 出来形管理図は原・変更設計図又は、その縮小図を使用することができ、結果表に整理できない部分のみ作成し、出来形図と兼ねることができる。

(3) 品質管理

- 1) 乙は、品質を県共通仕様書及び品質管理基準表に定める試験項目及び試験基準により管理し、その管理内容に応じて、工程能力図又は、品質管理図表（ヒストグラム、 $\bar{x}$ -R、など）を作成するものとする。但し、測定数が10点未満の場合は、品質管理図表のみとし、管理図の作成は不要とする。

この品質管理基準の適用は試験区分で「必須」となっている試験項目は、全面的に実施するものとし、下記に掲げる工種（イ）（ロ）の条件に該当する工事については、基準を準用する。

また、試験区分で「その他」となっている試験項目は、特記仕様書で指定するものを実施するものとする。

(イ) 路 盤

維持工事等の小規模なもの（施工面積が1,000 m²以下のもの）

(ロ) アスファルト舗装

維持工事等の小規模なもの（同一配合の合材が100 t未満のもの）

- 2) 乙は、セメントコンクリートの適用に当たり、無筋コンクリート構造物のうち、重力式橋台、橋脚及び重力式擁壁（高さが2.5 mを超えるもの）については、鉄筋コンクリートに準ずるものとする。

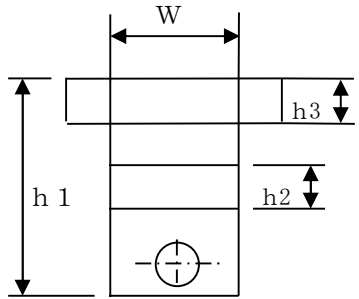
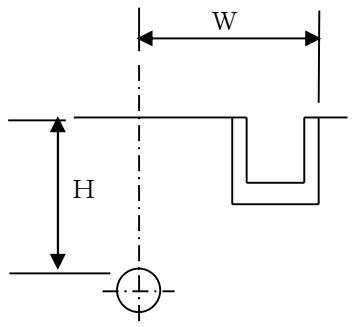
6. 工事写真

乙は、工事写真を施工管理の手段として、各工事の施工段階及び工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来高寸法、品質管理状況、工事中の災害写真などを、配管工事写真管理基準又は県の写真管理基準により撮影し、適切な管理のもとに保管し監督員の請求に対し直ちに提示するとともに、工事完成時に提出しなければならない。

7. 管理の様式

- 1) 施工管理に必要な様式については、県の様式に準じるものとする。
- 2) 土質試験の様式については、必要に応じて土質工学会の様式を使用することができるものとする。
- 3) 安全巡視日報等は、検査書類としての整理は必要ないが、監督員又は検査員が提示を求めた場合、乙は応じなければならない。

出来高管理基準表

工 種	測 定 項 目		規格値(mm)	測 定 基 準	測 定 箇 所
配管土工	掘削幅(W)		- 5 0	幅・深さ・各層厚は測点毎測定。 点在するものについては、1箇所毎に測定	
	掘削深さ(h1)		± 5 0		
	路盤掘削深さ(h3)		- 5 0		
	埋戻厚さ(h2)		± 5 0		
管布設工	延長	L<20m	- 5 0	延長は、管割図から算定した実延長と設計延長を比較 中心線の偏位・土被りは測点毎に点在するものは1箇所毎に測定	
		L≥20m	- 1 0 0		
	中心線の偏位(水平方向)		左、右 1 5 0		
	土被り(基準高)		+ 5 0、- 5 0		

※ その他の一般施工については、県土木部共通仕様書による。

※ 測定基準(測点)については、施工延長200mまでについては20m毎とし、200mを超えるものについては50m毎とする。

2. 水道工事写真撮影基準

配管工事写真撮影基準

1. 目的

この基準は、配水管工事の監督及び検査の適正化を図るため、工事記録写真の撮影及び整理等について基本的な事項を定めるものである。

2. 撮影方法

1 写真の分類

写真は、原則として着手前及び完成、施工状況、安全管理、使用材料、品質管理、出来形管理とすること。なお、撮影に当たっては、別図の小黒板を被写体とともに写しこむこと。

- (1) 状況写真は、施工の位置及び状況が容易に確認できるよう家屋等を背景に入れて撮影すること。

なお、一枚で状況が確認できない場合は、組写真にすること。

- (2) 品質管理写真は、検査・試験・測定等を行っている全景及び企画・基準等と照合又は対比して確認できるように近距離から撮影すること。

- (3) 出来形管理写真は、所定の形状・寸法が判定できるように必ず寸法を示す器具（箱尺又はリボンテープ等）を入れて撮影する。

2 撮影箇所

撮影は、「別表」に示すほか、監督員が指定する箇所又は記録に残す必要のある箇所とする。

3 撮影時期

撮影者は、写真撮影の目的を十分に理解し、常に、工事の進捗状況、施工内容を把握して、施工前及び施工後等、適切な時期に撮影すること。

4 写真の種類

写真は、カラー写真とし、焼付け大きさはサービス版とすること。

3. 整理・編集

1 写真帳

写真帳の大きさは、A4版を標準とすること。

なお、表紙には、工事名称、工事番号、請負者名（社判押印）を記入すること。

2 写真の整理

- (1) アルバムの整理については、工事全体の流れがわかるものを作成し、工種毎に工事過程（着手前、施工状況、出来形管理、完成等）が容易に把握できるようにする。

- (2) 同じ工程が繰り返すものについては、代表的な1サイクルの写真をアルバムに整理し、その他は必要に応じネガで管理する。

ネガは、密着写真とともにネガアルバムに整理する。

- (3) 施工状況、安全管理、使用材料、品質管理、出来形管理写真等はそれぞれ分類して整理する。

- (4) 着手前と完成は対比できるように撮影し、着手と完了の月日を記入する。

その他の写真の月日記入は、補助事業等で監督員が指示する以外は省略する。

4. 写真帳の提出

- (1) 工事写真帳は、工事完成時に竣工用として1部、占用関係として抜粋写真を1部提出する。
- (2) 監督員の指示があった場合は、その指示による。

5. 留意事項

- (1) 撮影項目、撮影頻度等は標準を示したものであり、工事内容により必要に応じて増減するものとする。
- (2) 施工状況等の写真については、デジタルカメラ等の活用ができるものとする。
(有効画素数120万画素数～300万画素数程度)
- (3) 夜間工事は、その状況が判別できるような写真であること。
- (4) 撮影は、必要に応じて遠距離と近距離から行うこと。
- (5) 撮影箇所がわかりにくい場合は、写真と同時に配管図等をアルバムに添付する。
- (6) 公的機関で実施された品質証明を保管、整備した場合には品質管理写真を省略できる。
- (7) 監督員が確認した箇所は、出来形管理写真を省略することができる。

工事写真小黑板 (参 考 図)

工 種			
位 置			
寸 法 実 測 (設 計)			
略 図			

4 5 cm ~ 6 0 cm

3 0 cm ~ 5 0 cm

記 入 例

工 種	配管工(布設位置)		
位 置	N o . 2 5		
寸 法 実 測 (設 計)	W 1 , 5 1 0 (1 , 5 0 0)	B 8 1 0 (8 0 0)	H 1 , 2 2 0 (1 , 2 0 0)
略 図			

配管工事写真撮影基準

工 種		撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮 影 頻 度	撮 影 要 領
着工前及び 竣工写真	着工前	全景又は代表箇所	着工前	連続写真(測点毎)又は箇所毎	起点から終点までの連続風景 布設位置を石灰等で記し、測点を表示
	竣工	全景又は代表箇所	施工後	連続写真(測点毎)又は箇所毎	起点から終点までの連続風景 着工前と対称に撮影 写真に布設位置・測点を赤で明示
土 工 仮 復 旧 ま で	舗装切断	施工状況	施工中	測点毎又は箇所毎に 1 回	
		舗装版取壊	施工状況	取壊中	測点毎又は箇所毎に 1 回
	舗装厚		取壊後	測点毎又は箇所毎に 1 回	
	掘削	土質等の判別	掘削中	地質が変わる毎に 1 回	機械・人力判別を撮影
		上下幅・深度	掘削後	測点毎又は箇所・地質毎に 1 回	
	仮設	土留矢板	設置後	測点毎又は箇所毎に 1 回	
		ウェルポイント	施工中	測点毎又は箇所毎に 1 回	
	残土処分	捨場状況	搬入前後	捨場毎に 1 回	周辺状況がわかるよう撮影
	埋戻し工	転圧状況	転圧中	測点毎又は箇所毎に 1 回	
		各層の厚さ	転圧後	測点毎又は箇所毎に 1 回	1 層 20 cm標準 (管上初層 30m)
	路盤工	転圧状況	転圧中	測点毎又は箇所毎(各層)に 1 回	
		各層の厚さ	転圧後	測点毎又は箇所毎(各層)に 1 回	1 層 15 cm標準
	アスファルト 仮復旧	完了状況	転圧後	測点毎又は箇所毎に 1 回	
		層の厚さ	コア抽出後	100m 毎に 1 回	コアの検測
	試験堀工	掘削位置	掘削前	施工箇所毎に 1 回	周辺状況を撮影
		埋設物の位置、 離れ、土被り、配列	掘削中	施工箇所毎に 1 回	
道路復旧状況		復旧後	施工箇所毎に 1 回		

工 種		撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮 影 頻 度	撮 影 要 領
配管工	材料	材料検査	使用前	実施箇所毎に1回	梱包を解き撮影
				変更追加時に1回	監督員立会(変更時は省略可)
	配管	管の吊込み	施工中	起点・終点の2回又は箇所毎に1回	測点記入
		管の接合	施工中	起点・終点の2回又は箇所毎に1回	測点記入、締め付けトルク撮影
		異形管類の配管	配管後	施工箇所毎に1回	
		特殊押輪等の抜止	配管後	施工箇所毎に1回	
		不断水連絡工	施工中・後	施工箇所毎に1回	
		配管状況	施工後	測点毎又は箇所毎に1回	
		ポリスリーブ被覆	被覆後	測点毎又は箇所毎に1回	曲管又はT字管部は全て撮影
		管明示テープ	施工後	測点毎又は箇所毎に1回	土被り・占用写真に含めて撮影
		埋設シート等	施工後	測点毎又は箇所毎に1回	土被り・占用写真に含めて撮影
		土被り・占用位置	配管後	測点毎又は箇所毎に1回	側溝等からの離れ・深度を検測
		既設管接続	配管後	接続箇所毎に1回	
		水圧試験	試験時	実施箇所毎に1回	監督員立会、自記録結果添付
	付属	給水管切替	ポリスリーブ被覆後	分岐箇所毎に1回	分水・布設状況を撮影
			既設接続状況	切替箇所毎に1回	止水栓・既設接続撮影(弁筐は省略)
			埋戻中	切替箇所5箇所毎に1回	道路横断部は優先的に撮影
		空気弁・消火栓	配管後	設置箇所毎に1回	T字管等からの配管状況撮影
			ポリスリーブ被覆後	設置箇所毎に1回	
			BOX設置後	設置箇所毎に1回	内側に開閉区分(O-S), 口径表示
			標識設置	設置箇所毎に1回	基礎工も撮影
		仕切弁	配管後	設置箇所毎に1回	前後の配管状況撮影
			ポリスリーブ被覆後	設置箇所毎に1回	
			筐・座台設置後	設置箇所毎に1回	
			完成後	設置箇所毎に1回	複数のときは、一箇所での撮影

工 種		撮 影 項 目	撮 影 時 期	撮 影 頻 度	撮 影 要 領
水管橋 及び 橋梁 添架	水管橋	下部構造	「県共通仕様書」により撮影		
		材料検査	検査中	部材毎に1回	
		管体及び部材制作	製作中	製作過程毎に1回	
		仮組検査	検査中	実施箇所毎に1回	
		架設	架設中	1 スパン毎に1回	
		接合部検査	検査中	実施箇所毎に1回	
	橋梁添架	材料検査	検査中	部材毎に1回	管本体及び添架材料
		架設	架設中	1 スパン毎に1回	
		接合部検査	検査中	実施箇所毎に1回	
塗装工	管塗装工	材料検査(使用量)	検査中	全数量	
		地下処理及び塗装	塗装後	継手毎又は1 スパンに1回	
		検査(膜圧・ピンホール	検査中	1 スパンに1回	
		密着等)			
	その他	仕上がり	塗装後	実施箇所毎に1回	
		材料検査(使用量)	検査中	全数量	各層毎
		地下処理及び塗装	塗装後	継手毎又は1 スパンに1回	
		仕上がり	塗装後	実施箇所毎に1回	
安全 管理	安全管理	各種標識の設置	設置後	実施箇所・種類毎に1回	
		各種保安施設	設置後	実施箇所・種類毎に1回	
		保安要員等 交通整理	作業中	40m 又は箇所毎に1回	
社内 検査	中間・完成 検査	実施状況	実施中	実施毎に1回	
工事 看板	工事看板	看板設置	設置後	設置毎に1回	工期変更時には、再度撮影 建退協のシールを添付し撮影

3. 竣工図書作成要綱

竣 工 図 書 作 成 要 綱

1. 目的

この要綱は、地下埋設情報をより正確に把握し、水道管管理図面の追加修正及び施設の維持管理業務を円滑に進めるため、工事竣工図（以下、竣工図という。）等の作成について統一した基準を定めるものである。

2. 適用

この要綱は、送水管及び配水管布設工事等の請負者が提出する竣工図の作成に適用するものとする。なお、これに定めのない事項は、監督員の指示によるものとする。

3. 埋設管の位置管理

別紙管路出来形管理表により測点毎に横断（平面）的及び、縦断的に埋設管の位置を管理する。特に、既設構造物（側溝、縁石）からの離れを明記すること。

4. 竣工図

竣工図には、出来形の形状、及び数値を設計と対比出来るよう朱書にて記載のこと。設計図と出来形に著しい相違がある場合には、引出等にて詳細図を記載のこと。

給水管分岐替は、分岐箇所から止水栓さらにメーターまでの延長を記入のこと。

別紙により、詳細図を作成し2部提出すること。

5. 写真撮影

交差点部、分岐部、既設管接続部及び、変化点等において、堀山内の配管状況が確認出来るよう複数方面から撮影し、工事看板に方角を記載のこと。

砂巻立は、管上及び管下を管理し、全体厚が確認できるものとする。

埋戻状況は、1層ごとの状況が確認できるものとする。

給水管（分岐栓、管路、止水栓）設置状況が確認できるものとする。

6. 水圧試験

通水後、施工区間内にて水圧試験 1Mpa（24時間）を実施し、判定基準は 0.95Mpa とする。但し、監督員が認めた場合 1Mpa（8時間）、判断基準を 0.98 Mpa として良いものとする。

別紙により、調書（チャート）及び写真を提出すること。

消火栓設置がある場合は動水圧測定（24時間）を行い、放水試験状況写真を添付のこと。

添 付 資 料

工 事 出 来 形 表

契約番号 _____

工事名 _____ 工事

工事場所 南相馬市 _____ 地内

工 種	設計数量	出来形数量	単位	差	備 考
1. 布設総延長			m		
口径別延長 φ			m		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
2. 各戸新管切替工総数			箇所		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
3. 仕切弁総数			個		
φ			個		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
φ			//		
4. 消火栓及び空気弁室			基		
消火栓			基		
空気弁			//		
5. 舗装復旧面積			m ²		
			//		
			//		

水道統計資料

契約番号

工事名

工事

工事場所 南相馬市

地内

工種	出来形数量	単位	備考
1. 布設管種口径別延長			
φ		m	
φ		m	
φ		m	
φ		m	
2. 除却管種口径別延長			
φ		m	
φ		m	
3. 設置仕切弁口径別個数			
φ		個	
φ		個	
4. 除却仕切弁口径別個数			
φ		個	
φ		個	
5. 廃棄物等数量（発生土含み）			
アスファルト殻		t	
AS 切断排水		t	
発生土		m3	

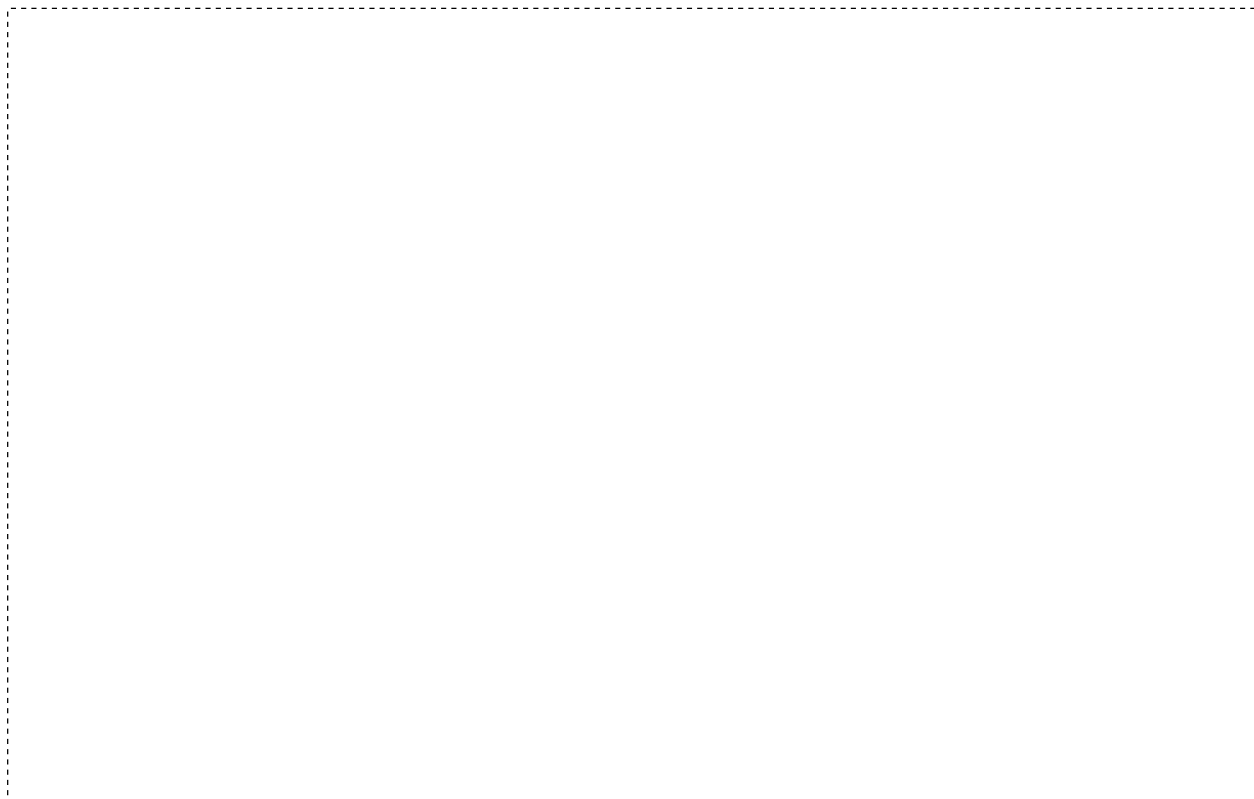
管 路 出 来 形 管 理 表

断 面 図	測点	施工図 No	H 1	H 2	L 1	L 2	L 3	L 4
(施工図 No. 1)								
(施工図 No. 2)								
(施工図 No. 3)								

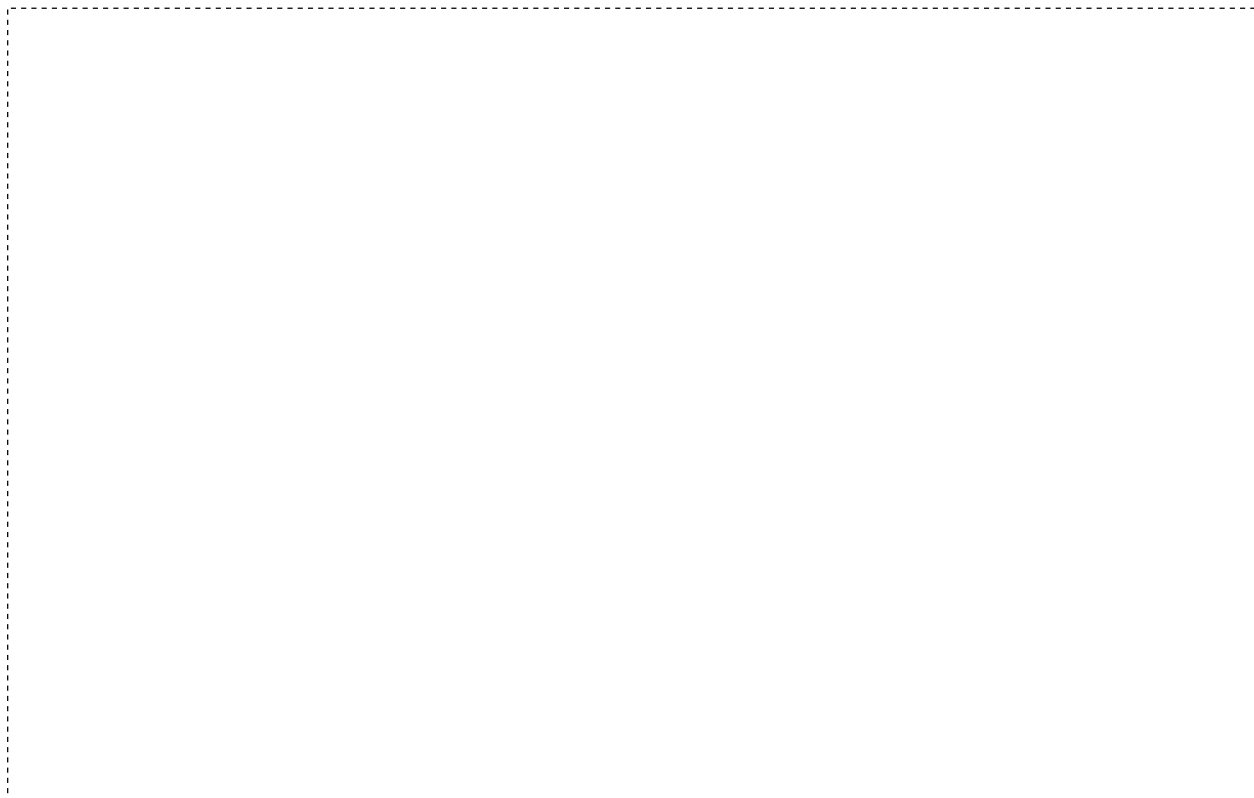
管 路 水 圧 試 験 調 書

試験区間	管 種	口 径	工 延 事 長	管 布 設 長																																																							
	D I P R R - V P		m	m																																																							
実 施 年 月 日	開 始 年 月 日 時 分 終 了 年 月 日 時 分	試 回 数	() 回 目																																																								
水 圧 試 験 結 果 表	(時 間 ・ 分)																																																										
	Kg/cm ²	<table border="1"> <tr> <td>17.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>15.0</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>12.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>7.5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5.0</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>				17.5									15.0									12.5									10.0									7.5									5.0								
	17.5																																																										
	15.0																																																										
12.5																																																											
10.0																																																											
7.5																																																											
5.0																																																											
(破線)	0	10	20	30	40	50	60(分)																																																				
(実線)	0	4	8	12	16	20	24(時間)																																																				
記 事	静水圧 (最大) No.																																																										
	設計圧 (最大) No.																																																										
	試 験 位 置 No.																																																										
	そ の 他 :																																																										
実 施 責 任 者	主 任 技 術 者 名																																																										
立 会 者	監 督 員																																																										

開 始 時

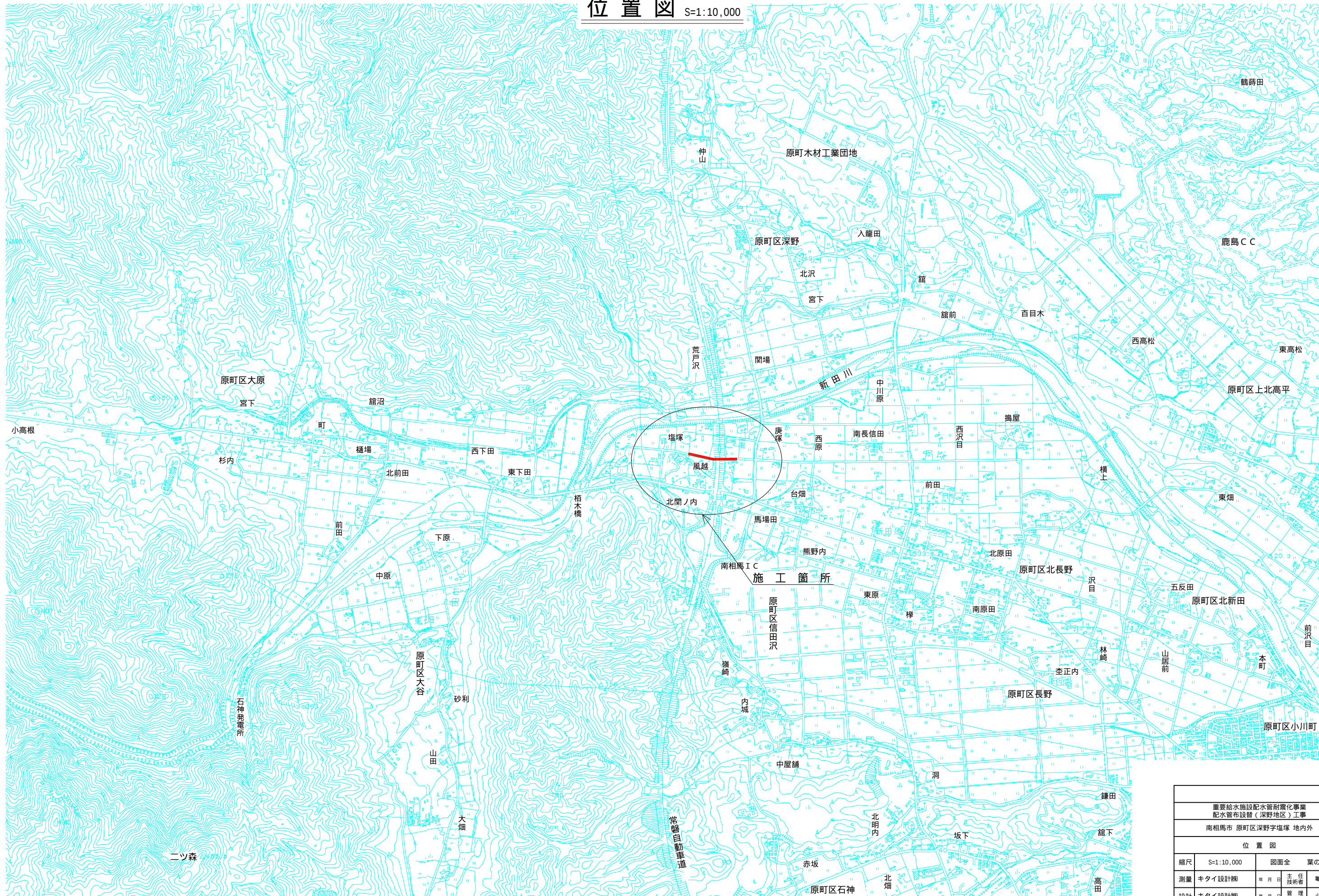


終 了 時



継手チェックシート

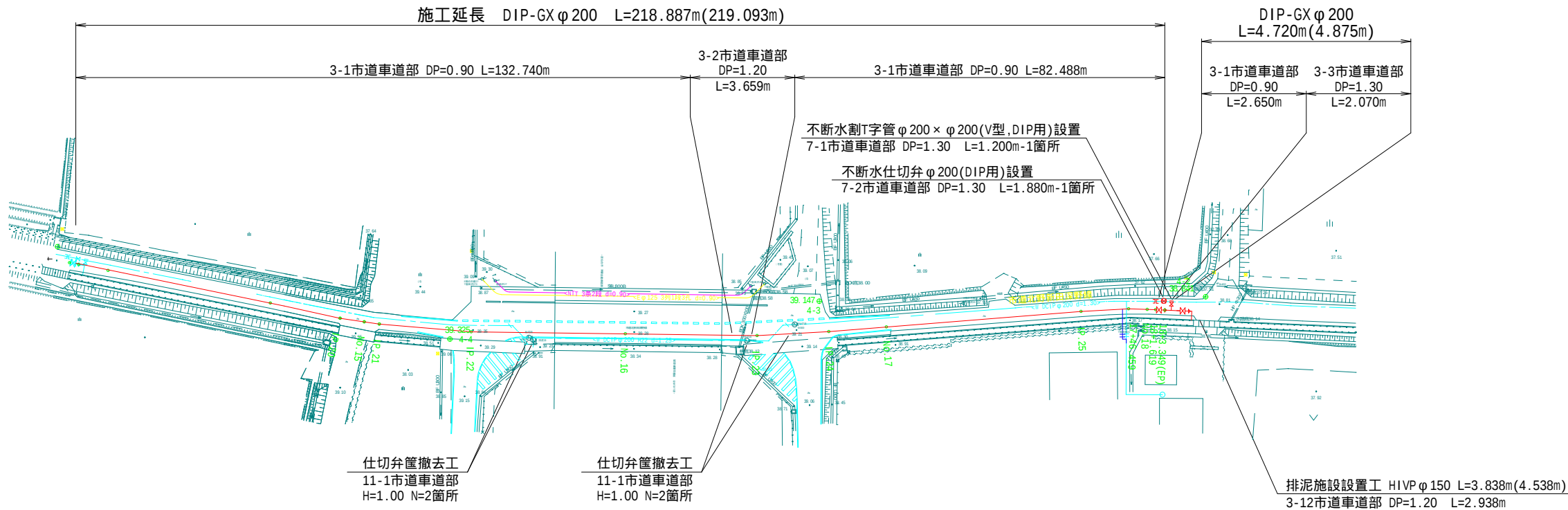
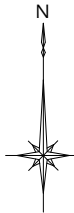
位置図 S=1:10,000



重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事 南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
位置図				
縮尺	S=1:10,000	図面全	葉の	
測量	キタイ設計㈱	年 月 日	主 任 技 術 者	亀川文仁
設計	キタイ設計㈱	年 月 日	管 理 技 術 者	小西達也
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

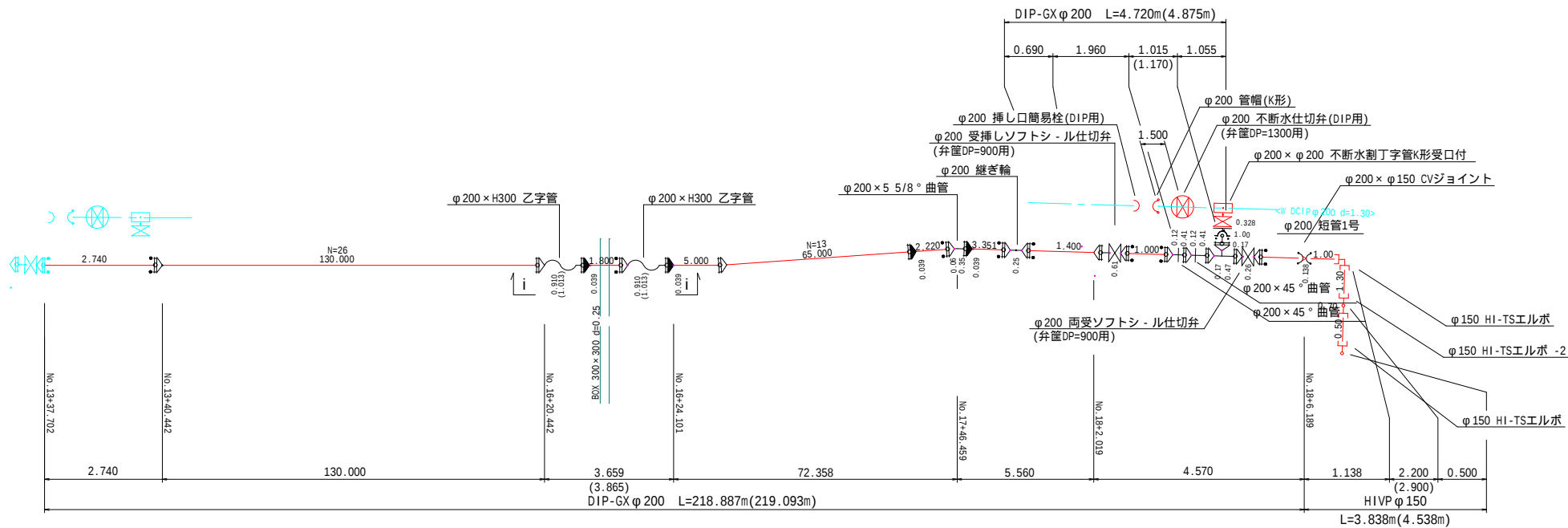
配管平面図

S=1:500

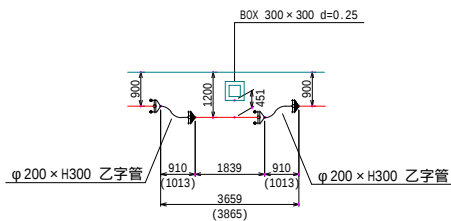


配管詳細図

S=FREE



i-i 断面図

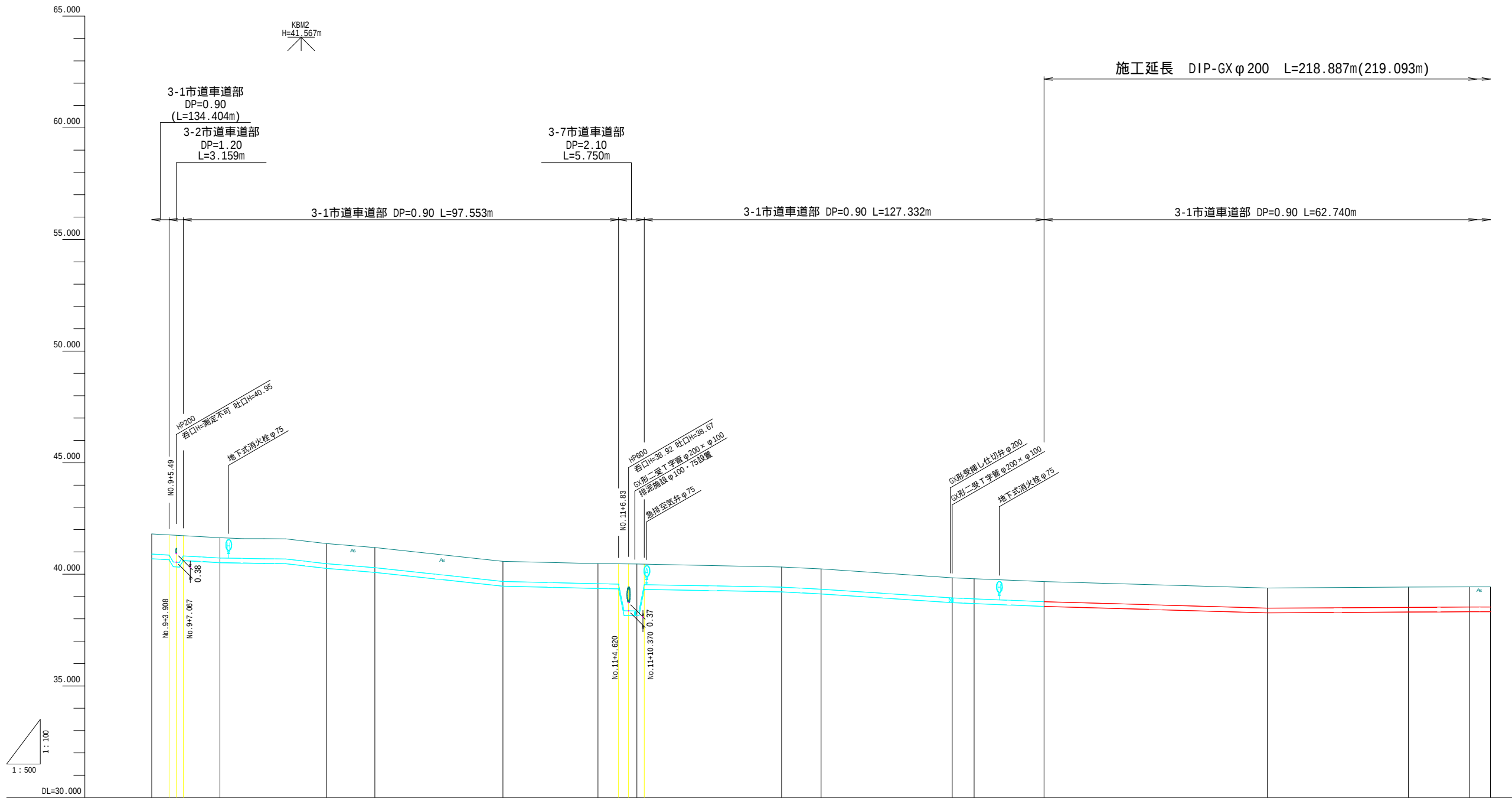


配管詳細図凡例	
	GX形継手
	GX形継手ラケ付
	GX形用 G-Link
	TS継手
	効継手

令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替 (深野地区) 工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
配管平面詳細図				
縮尺	S=1:500, FREE	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

配水管布設縦断図(1/2)

V=1:100
H=1:500



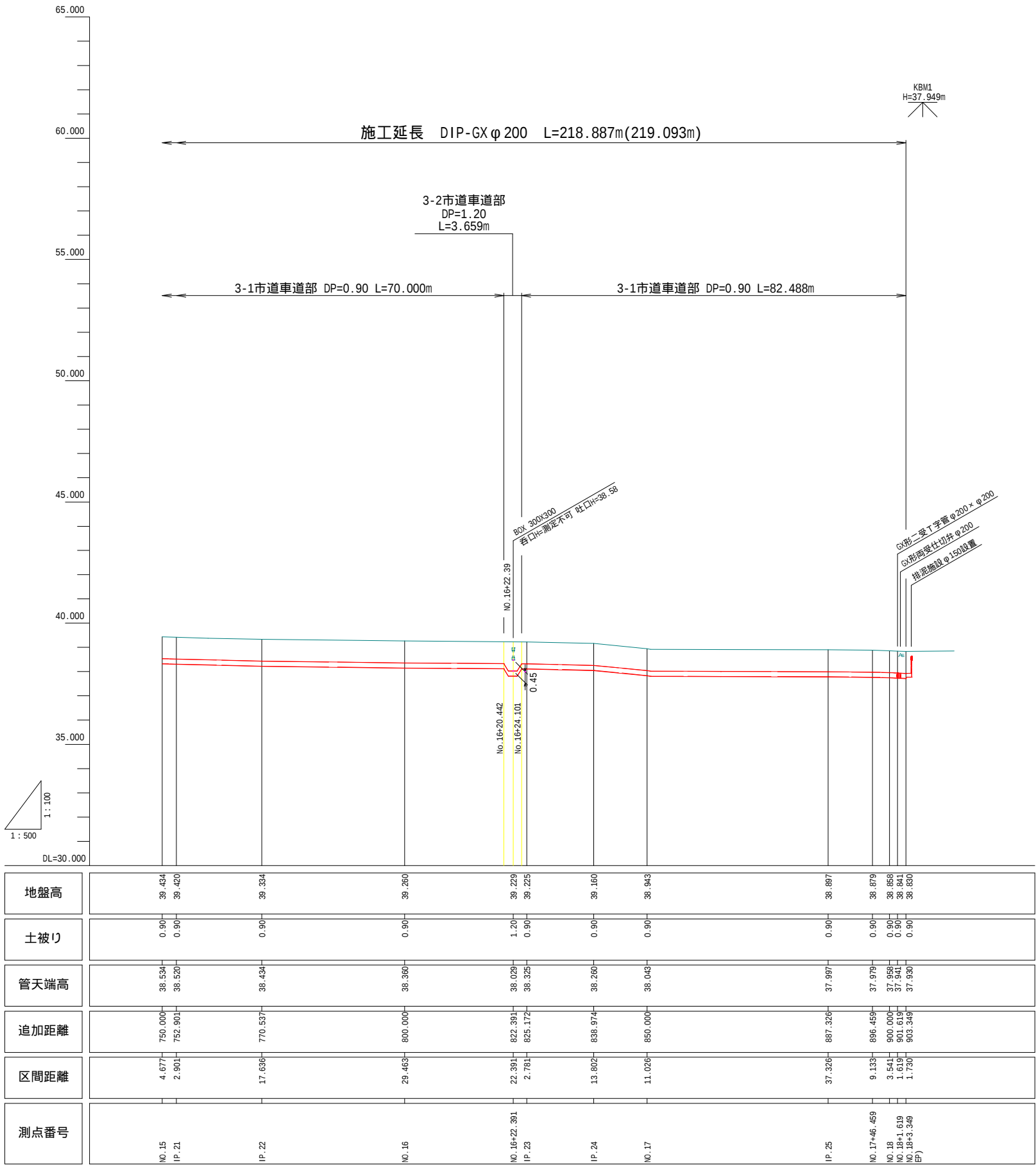
地盤高	41.806	41.744	41.633	41.375	41.196	40.580	40.476	40.324	40.234	39.842	39.798	39.673	39.387	39.423	39.435	39.434
土被り	0.90	1.20	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
管天端高	40.906	40.544	40.733	40.475	40.296	39.680	39.576	39.424	39.334	38.942	38.898	38.773	38.487	38.523	38.535	38.534
追加距離	450.000	455.490	465.288	489.203	500.000	528.697	550.000	591.148	600.000	629.414	634.317	650.000	700.000	731.643	745.323	750.000
区間距離	50.000	5.490	9.798	23.915	10.797	28.697	21.303	32.448	8.852	29.414	4.903	15.683	50.000	31.643	13.680	4.677
測点番号	No. 9	No. 9+6.490	IP. 14	IP. 15	No. 10	IP. 16	No. 11	No. 11+6.827 No. 11+8.700	IP. 17	No. 12	No. 12+29.414 IP. 18	No. 13	No. 14	IP. 19	IP. 20	No. 15

標高は、2級基準点R3-基 -2 H=44.148mを基準とする。

No. 9 ~ No. 15				
令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替 (深野地区) 工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
配水管布設縦断図(1/2)				
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

配水管布設縦断図(2/2)

V=1:100
H=1:500

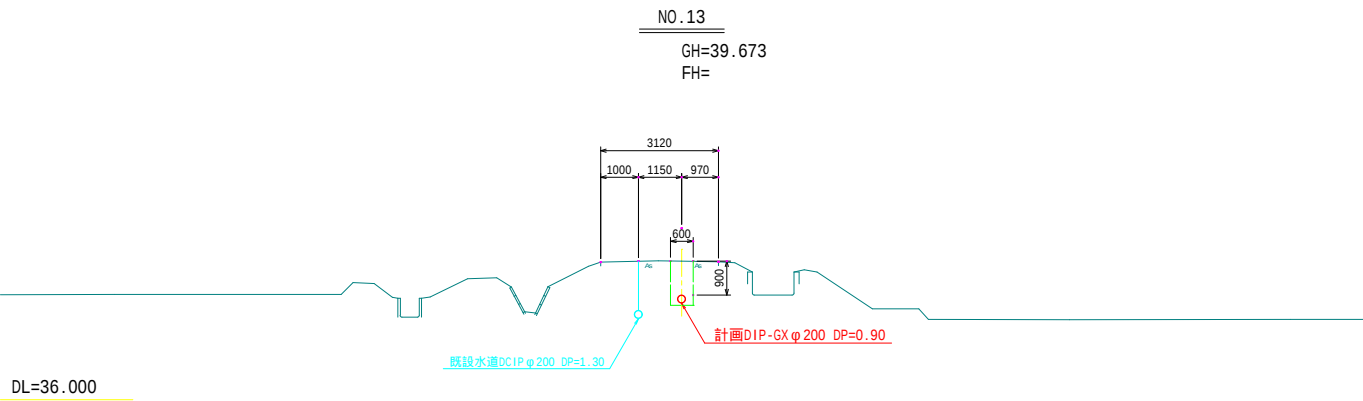
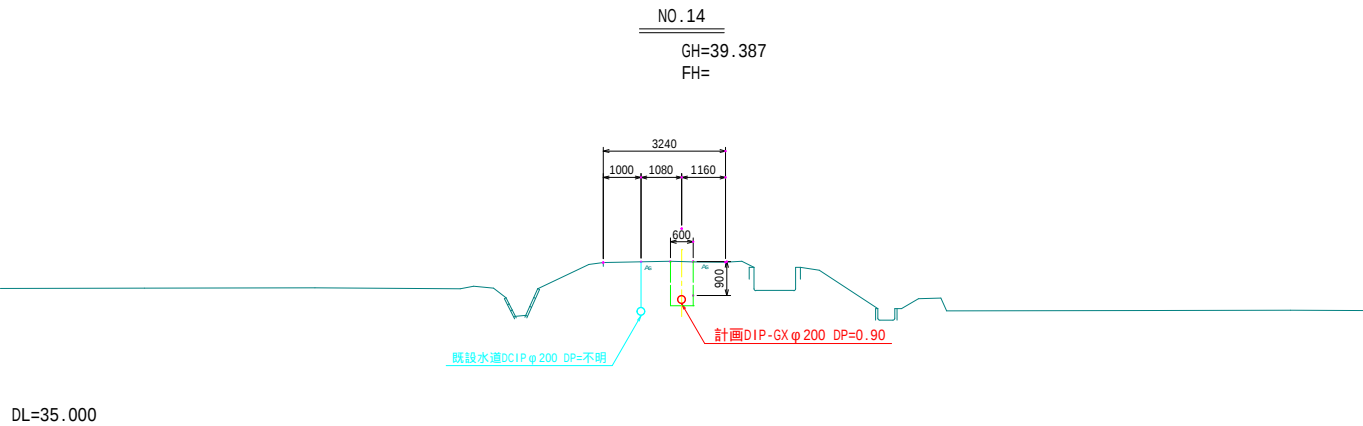
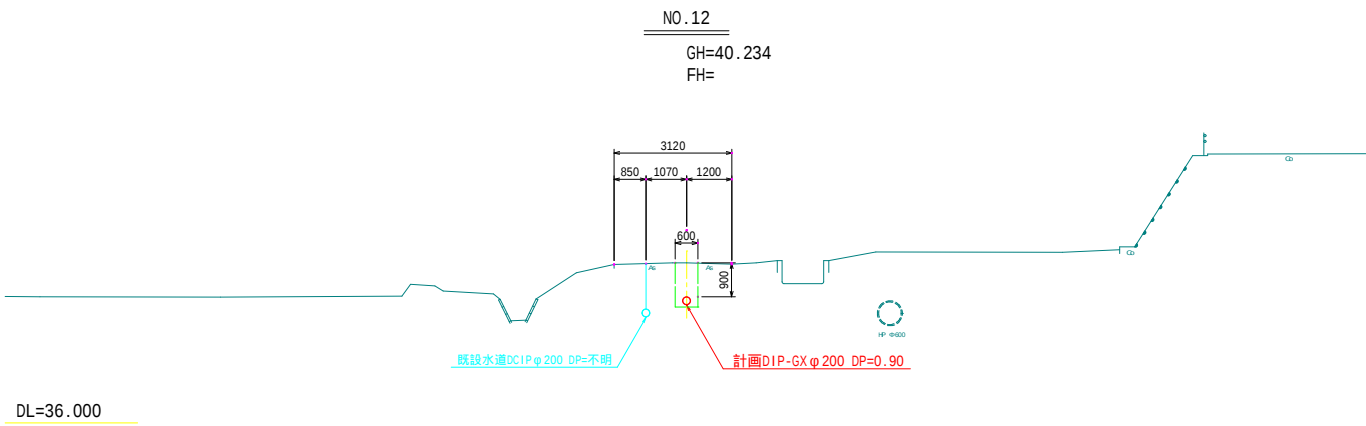


地盤高	39.434	39.420	39.334	39.260	39.229	39.225	39.160	38.943	38.887	38.879	38.858	38.841	38.830
土被り	0.90	0.90	0.90	0.90	1.20	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
管天端高	38.534	38.520	38.434	38.360	38.029	38.325	38.260	38.043	37.997	37.979	37.958	37.941	37.930
追加距離	750.000	752.901	770.537	800.000	822.391	825.172	838.974	850.000	887.326	896.459	900.000	901.619	903.349
区間距離	4.677	2.901	17.636	29.463	22.391	2.781	13.802	11.026	37.326	9.133	3.541	1.619	1.730
測点番号	No.15 IP.21		IP.22	No.16	No.16+22.391 IP.23		IP.24	No.17	IP.25	No.17+46.459	No.18	No.18+1.619 No.18+3.349 (EP)	

No.15 ~ No.18+3.349(EP)				
令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替(深野地区)工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
配水管布設縦断図(2/2)				
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

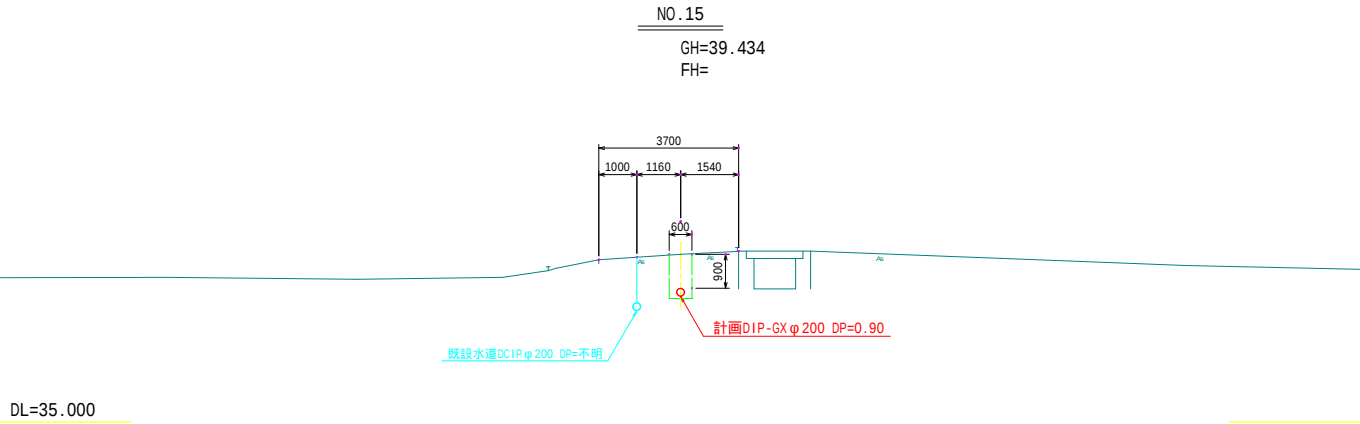
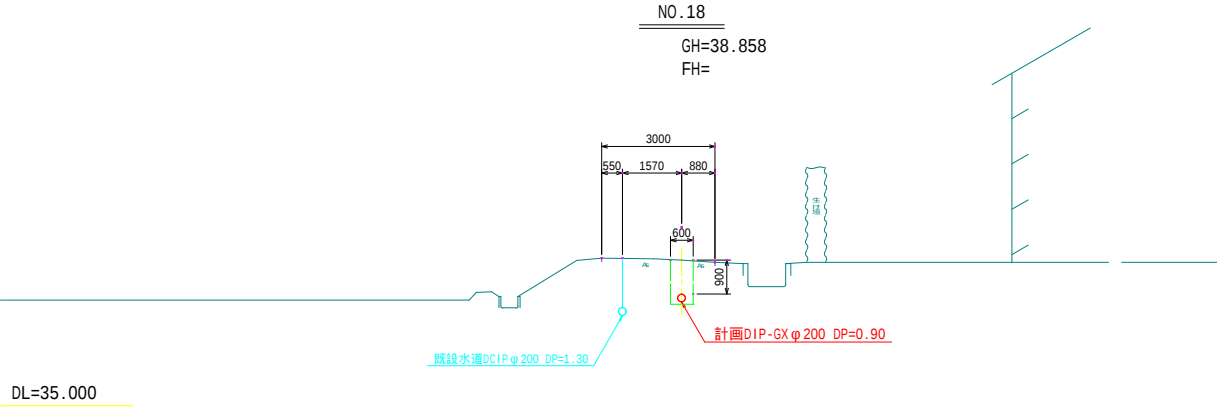
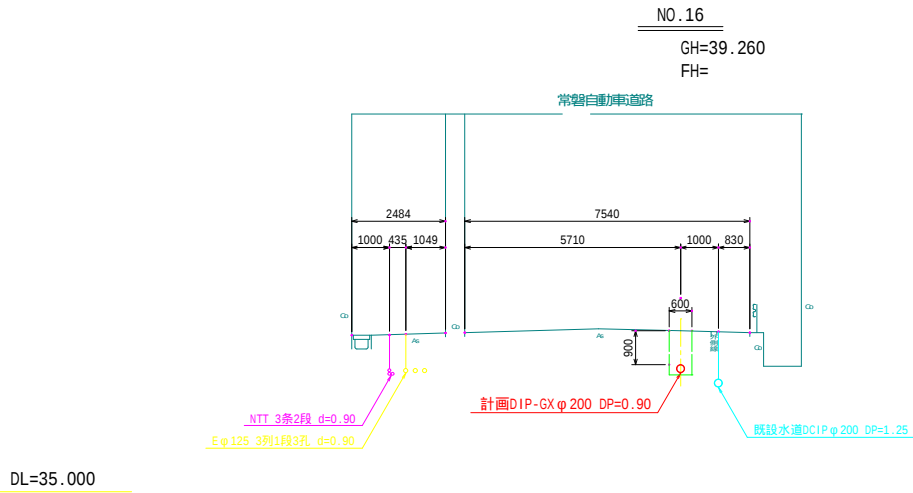
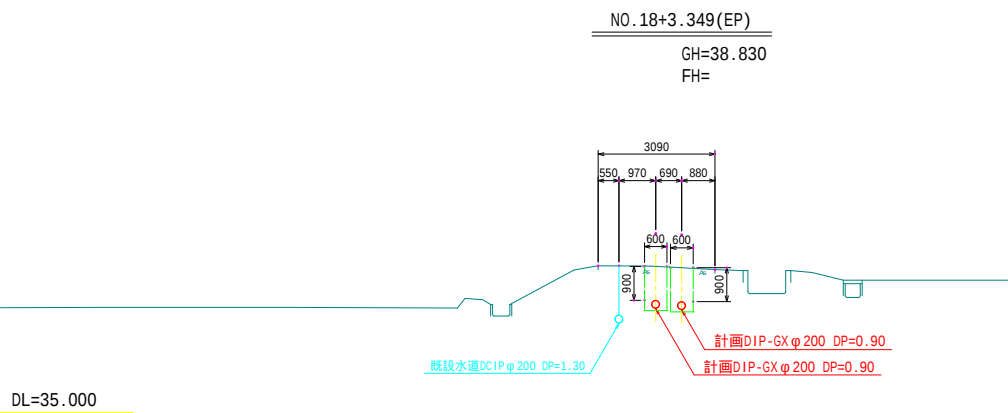
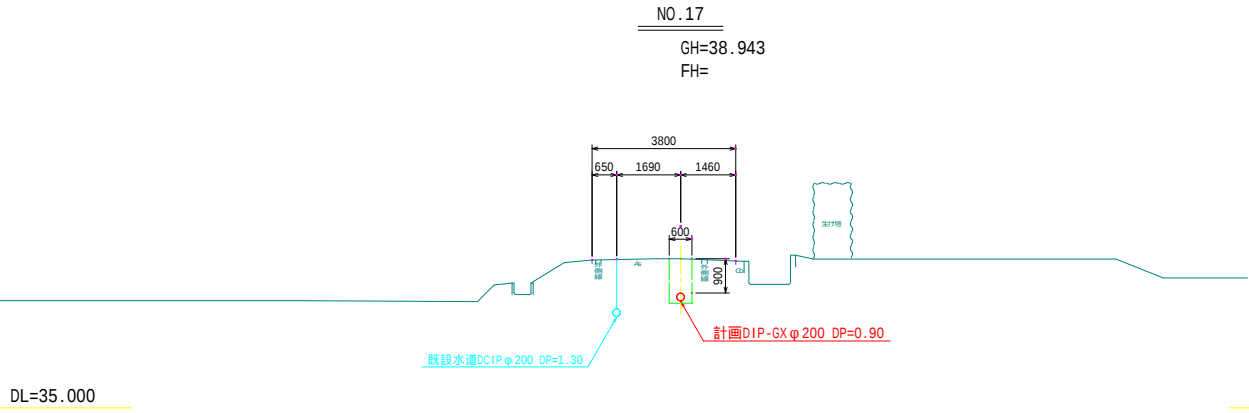
標高は、2級基準点R3-基 -2 H=44.148mを基準とする。

配水管布設横断図(1/2) S=1:100



No.12 ~ No.14				
令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
配水管布設横断図(1/2)				
縮尺	S=1:100	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

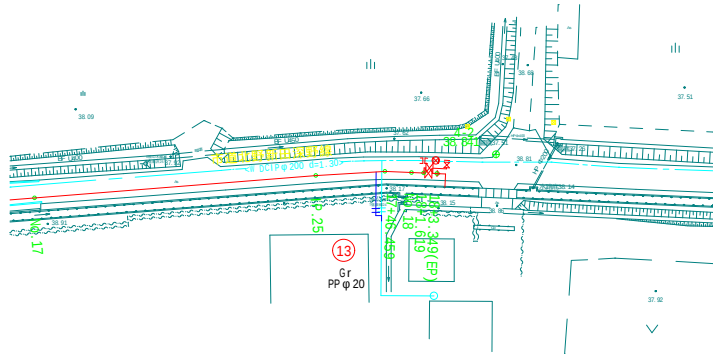
配水管布設横断図(2/2) S=1:100



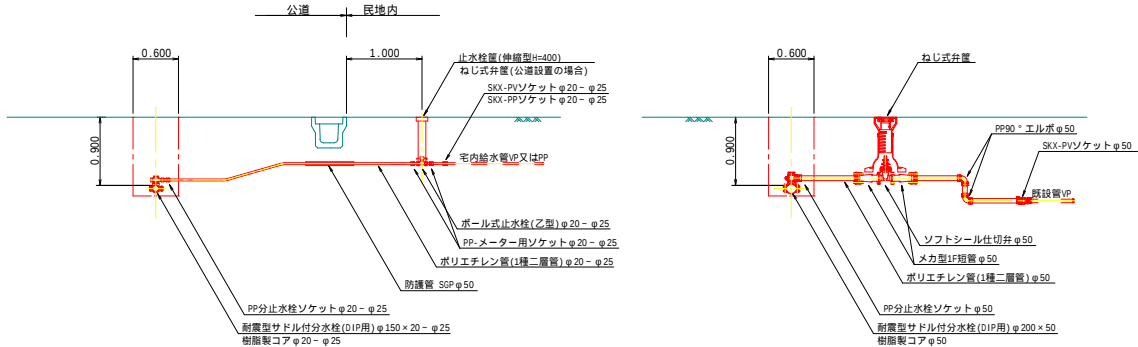
No.15 ~ NO.18+3.349(EP)				
令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
配水管布設横断図(2/2)				
縮尺	S=1:100	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

給水管布設平面図 S=1:500

平面図



給水管布設標準図 S=1:50



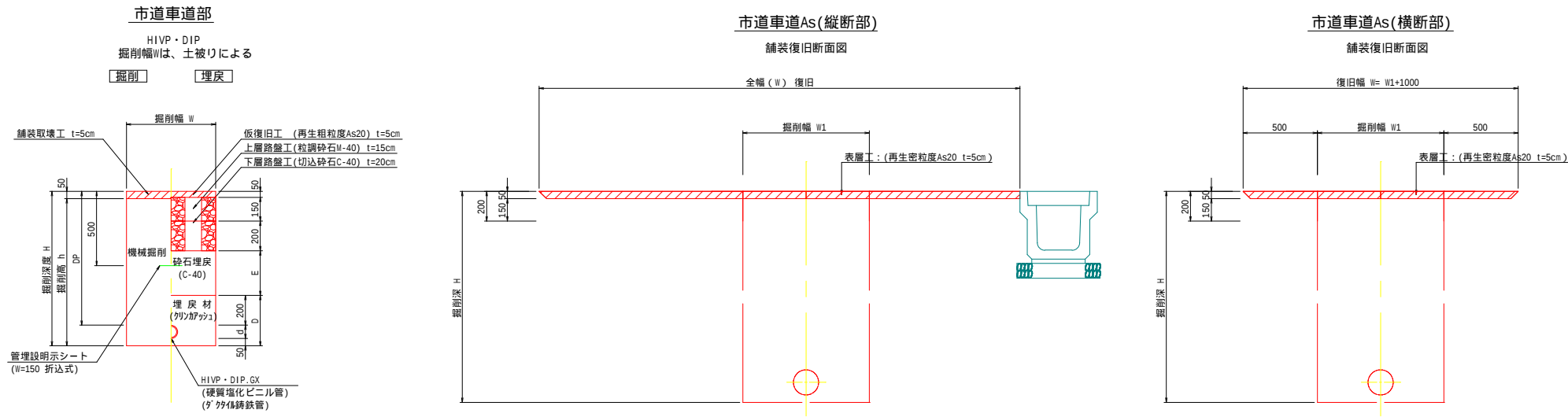
給水管材料集計表

	氏 名	口 径	土 工 区 分							P P		耐震型 サドル付 分水栓 φ200× 20〔DIP用〕	樹脂コア		止水栓	リ弁	秒 式 弁	止水栓蓋鉄蓋	PP-スーター 用ソケット	1F短管	PP分止水栓 ソケット	PP111	SKX-PV ソケット	SKX-PP ソケット	防護管		PP-切断	塩ビ切断	識別	
			市道車道As	市道路肩	農道Gr	宅内As	宅内Cd	宅内未	側溝下越	φ20	φ50		φ20	φ50	φ20	φ50	φ300	φ100×400	φ20	φ50	φ20	φ50	φ50	φ50	φ20	SGP φ50	SGP φ100	φ20	φ50	φ50
⑬	百井光	φ20	1.0	0.7				4.2	1.3	7.2		φ200×20〔DIP用〕	1.0		1.0			1.0	2.0		1.0			1.0		1.8		3.0		1.0

令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
給水管布設平面図				
縮尺	S=1:500	図面全	葉の	
測量		年月日	主 任 技 術 者	
設計		年月日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

標準土工断面図

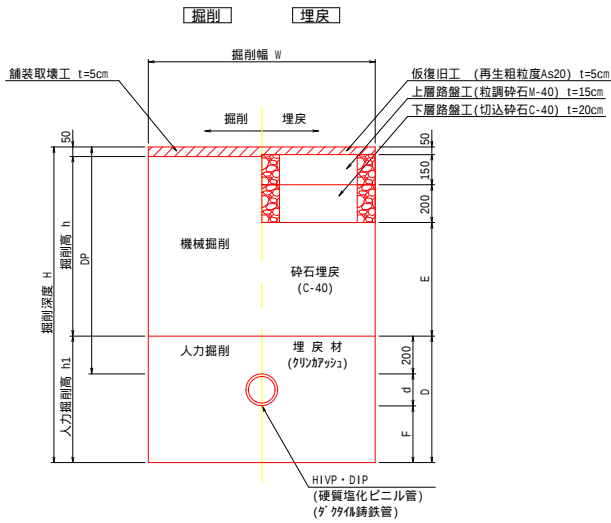
S=1:20



市道車道部																				(m当り)	
番号	管種	口径	土被り	舗装版 切断工	舗装版 取壊工	産廃運搬	産廃処分	機 械 掘削工	残土土砂	埋戻材 埋設工	切込砕石 埋設工	下層路盤工 切込砕石	上層路盤工 粒調砕石	仮復旧工 再生粗粒	掘削幅	掘削深度	機械 掘削高	管外径	保護砂高	埋戻高	
			DP	t 15cm	t=5cm	As塊	As塊	0.20m3BH	ｸﾘﾝｶﾞﾌﾞﾗｯｸ	C-40	C-40	M-40	As	W	H	h	d	D	E		
			m	m	m2	m3	t	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m	m	m	m	m	m	
3-1	DIP-GX	φ200	0.900	2.000	0.600	0.030	0.071	0.672	0.672	0.244	0.180	0.600	0.600	0.600	0.600	1.170	1.120	0.220	0.470	0.300	
3-2	DIP-GX	φ200	1.200	2.000	0.600	0.030	0.071	0.852	0.852	0.244	0.360	0.600	0.600	0.600	0.600	1.470	1.420	0.220	0.470	0.600	
3-3	DIP-GX	φ200	1.300	2.000	0.900	0.045	0.106	1.368	1.368	0.385	0.630	0.900	0.900	0.900	0.900	1.570	1.520	0.220	0.470	0.700	
3-12	HIVP	φ150	0.900	2.000	0.600	0.030	0.071	0.639	0.639	0.228	0.180	0.600	0.600	0.600	0.600	1.115	1.065	0.165	0.415	0.300	

市道車道部

不断水土工

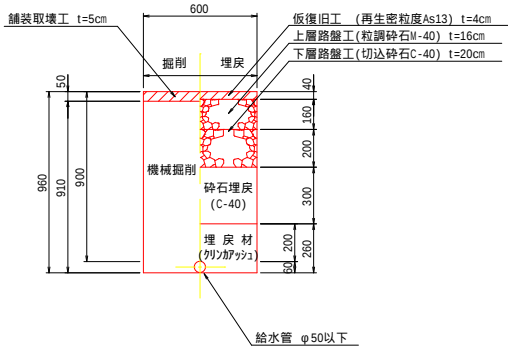


道車道部(不断水土工)																							(1箇所)	
番号	管種	口径	土被り	舗装版 切断工	舗装版 取壊工	産廃運搬	産廃処分	機 械 掘削工	人 力 掘削工	残土土砂	埋戻材 埋設工	切込砕石 埋戻工	下層路盤工 切込砕石	上層路盤工 粒調砕石	仮復旧工 再生密粒	掘削幅	掘削深度	機械 掘削高	人力 掘削高	管外径	保護砂高	埋戻高	管下高	掘削長
			DP	t 15cm	t=5cm	As塊	As塊	0.20m3BH			ｸﾘﾝｶﾞﾌﾞﾗｯｸ	C-40	C-40	M-40	As	W	H	h	h1	d	D	E	F	L
			m	m	m2	m3	t	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m2	m2	m2	m	m	m	m	m	m	m	m
7-1	DIP	φ200×200	1.300	4.600	1.320	0.066	0.155	1.386	1.036	2.422	1.036	0.924	1.320	1.320	1.320	1.100	1.920	1.050	0.820	0.220	0.820	0.700	0.400	1.200
7-2	DIP	φ200	1.300	6.560	2.632	0.132	0.309	2.764	1.824	4.588	1.824	1.842	2.632	2.632	2.632	1.400	1.820	1.050	0.720	0.220	0.720	0.700	0.300	1.880

令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
標準土工断面図				
縮尺	S=1:20	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

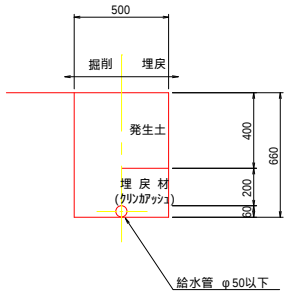
給水管土工標準図 S=1:20

市道車道As



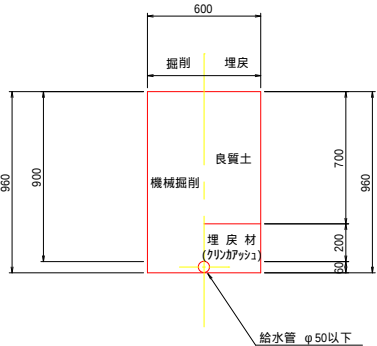
市道車道部		(m当り)											
管種	口径	土被り	舗装版 切断工	舗装版 取壊工	産廃運搬	産廃処分	機 械 掘削工	残土土砂	埋戻材 埋設工	切込砕石 埋戻工	下層路盤工 切込砕石	上層路盤工 粒調砕石	仮復旧工 再生密粒
		DP	t 15cm	t=5cm	As塊	As塊	0.20m3BH	m3	クリンガツツ	C-40	C-40	M-40	As
		m	m	m2	m3	t	m3	m3	m3	m3	m2	m2	As
PP	φ50以下	0.900	2.000	0.600	0.030	0.071	0.546	0.546	0.153	0.180	0.600	0.600	0.600

宅内未舗装



宅内未舗装		(m当り)				
管種	口径	土被り	人 力 掘削工	残土土砂	埋戻材 埋設工	発生土 埋戻工
		DP	m	m3	m3	m3
PP	φ50以下	0.600	0.330	0.130	0.127	0.200

市道路肩

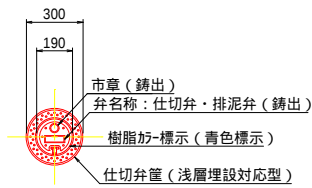


市道路局部					(m当り)	
管種	口径	土被り	機 械 掘削工	残土土砂	埋戻材 埋設工	良質土 埋戻工
		DP	0.20m3BH		クリンガツツ	
		m	m3	m3	m3	m3
PP	φ50以下	0.900	0.576	0.576	0.153	0.420

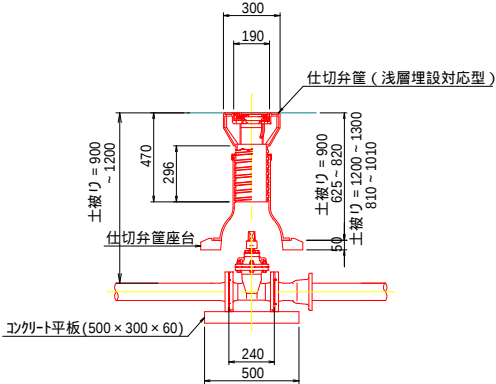
令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
給水管土工標準図				
縮尺	S=1:20	図面全 葉の		
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				

仕切弁詳細図
φ 75 ~ φ 200
(土被り = 0.90m ~ 1.30m)

平 面 図



断 面 図



令和	年度	契約番号	第	号
重要給水施設配水管耐震化事業 配水管布設替（深野地区）工事				
南相馬市 原町区深野字塩塚 地内外				
施 設 標 準 図				
縮尺	S=1:20	図面全	葉の	
測量		年 月 日	主 任 技 術 者	
設計		年 月 日	管 理 技 術 者	
南 相 馬 市 建 設 部 水 道 課				